

新座市公共施設再配置計画策定に向けた市民アンケート調査結果

1.調査概要

(1)調査目的

新座市が所有する公共施設(建築物)について、将来にわたって維持可能な施設規模を定め、行政サービスの維持・向上のための最適な配置や効率的な管理運営について定める「新座市公共施設再配置計画」の策定に当たり、市民が日頃感じている公共施設(建築物)についての幅広い意見・意向を把握し計画に反映させることが必要であることから、市民アンケート調査を実施しました。

(2)調査方法

本調査の対象者は18歳以上の市民の方々から無作為に抽出しています。

また、回答方法は郵送、もしくは、インターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答(Web回答)としました。

(3)調査期間

- 配布時期：令和7年1月 7日から順次郵送
- 回答期限：令和7年1月27日(Web回答)、2月3日(郵送)

(4)配布数及び回答数

	回答状況
配布数	3,000
Web アンケート回答数	315
紙面回答数	633
合計	948
回答率	31.6%

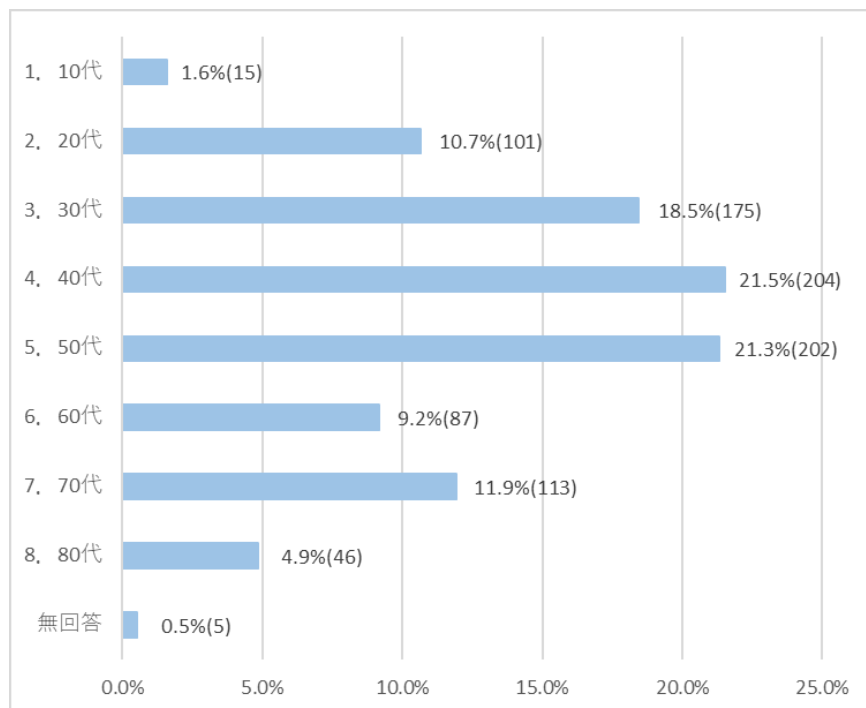
※一部のグラフ中の数値は四捨五入の都合上、合計値が100%にならない場合があります。

※()内は回答数となります。

2.単純集計

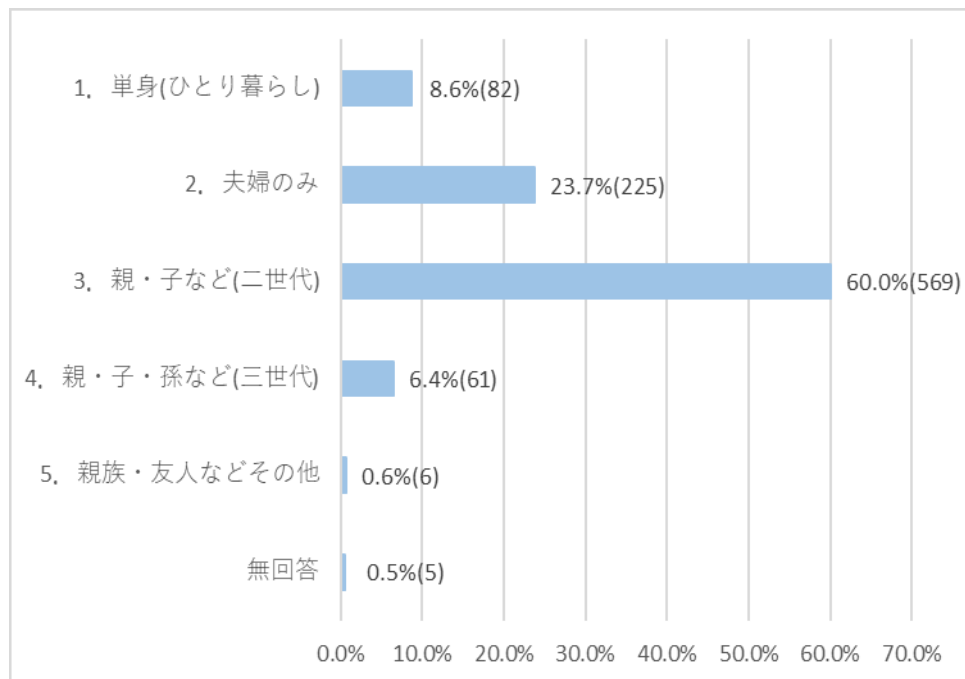
(1) 回答者の年齢

回答者の年齢は40代と50代がそれぞれ2割以上を占めており、次いで30代が2割弱となっています。



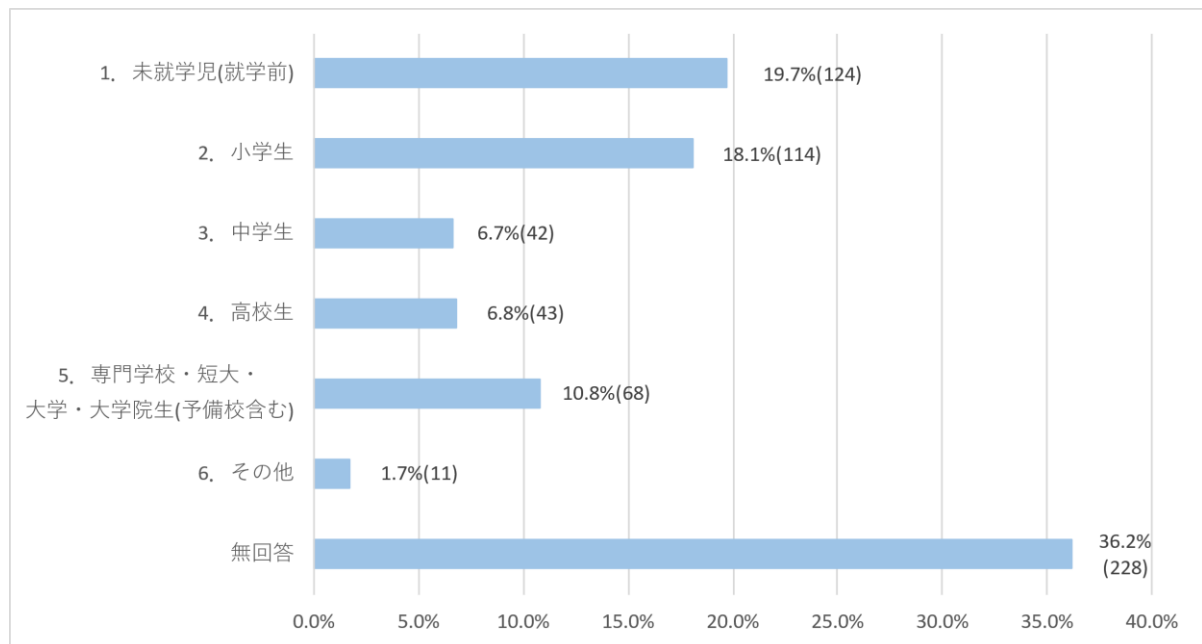
(2) 回答者の家族構成

回答者の家族構成は「親・子など(二世帯)」が最も多く6割を占めています。



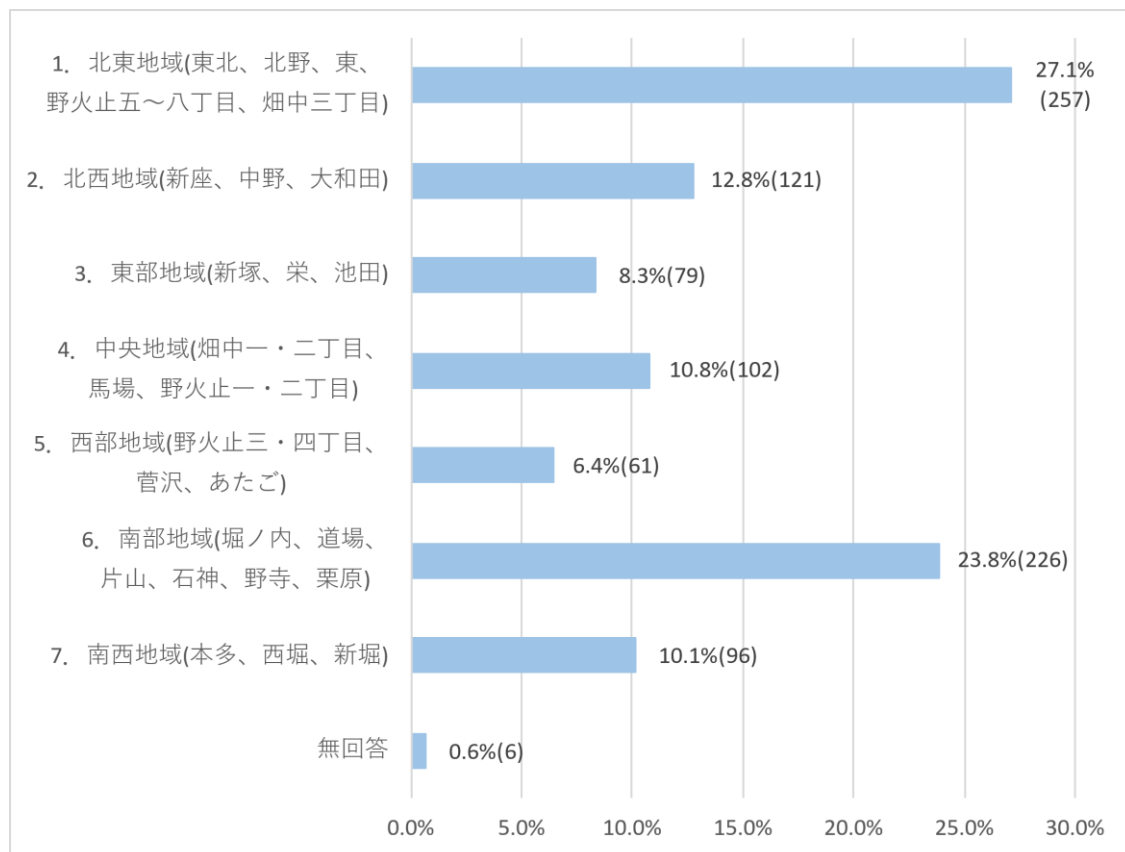
(3) 回答者の家族の就学状況

回答者の家族の就学状況は無回答を除くと「未就学児(就学前)」が最も多く、次いで「小学生」が多い結果となりました。問3は問2で3か4を回答した場合のみを集計しております。



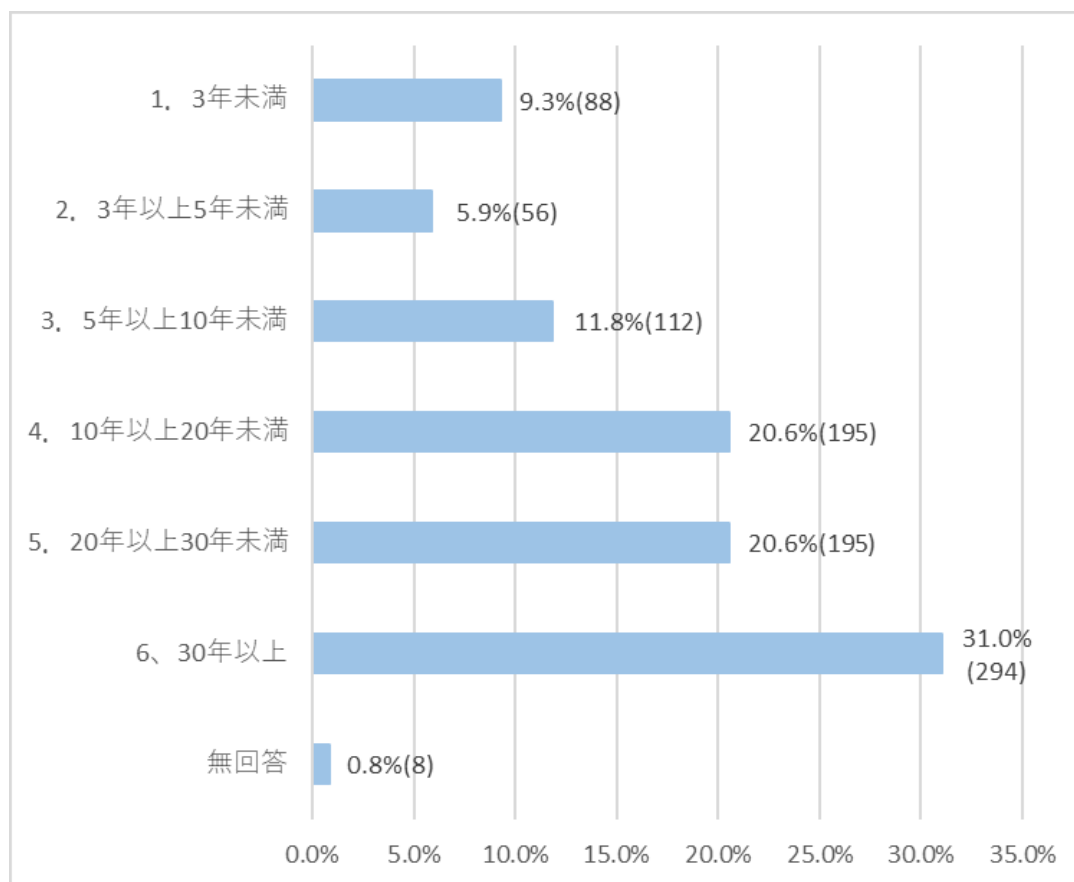
(4) 回答者の居住地域

回答者の居住地域は「北東地域」が最も多く、次いで「南部地域」が多く、それぞれ2割以上を占めています。



(5) 回答者の居住年数

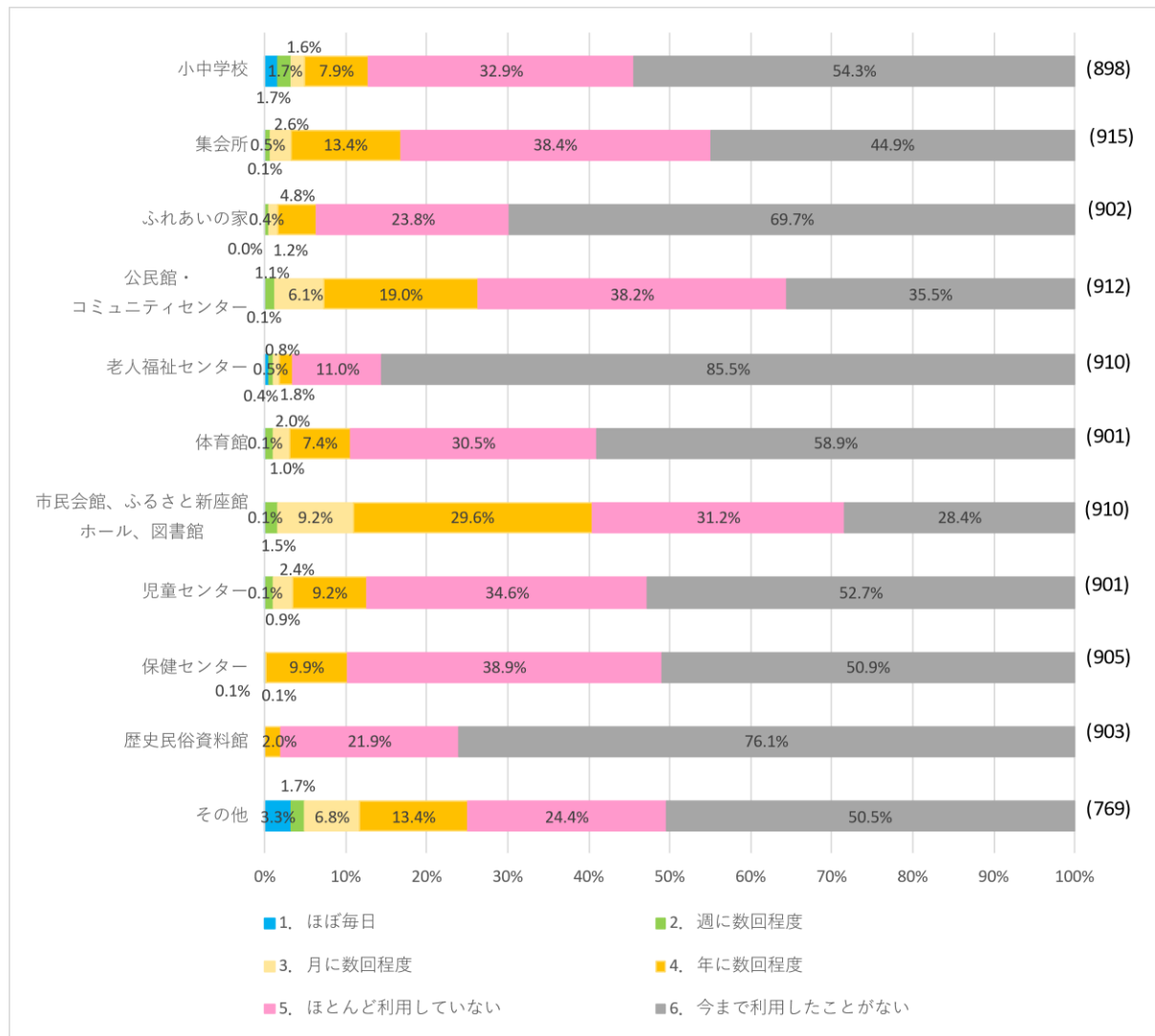
回答者の居住年数は「30 年以上」が最も多い結果となりました。



(6) 公共施設の利用頻度

多くの施設で「ほとんど利用していない」が2割以上、「今まで利用したことがない」が半数以上を占めています。

「年に数回程度」以上の利用が最多の「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」で「ほとんど利用していない」、「今まで利用したことがない」が合わせて約6割、最も少ない「歴史民俗資料館」では、合わせて9割以上の結果となりました



(7) 公共施設の満足度① サービス面について

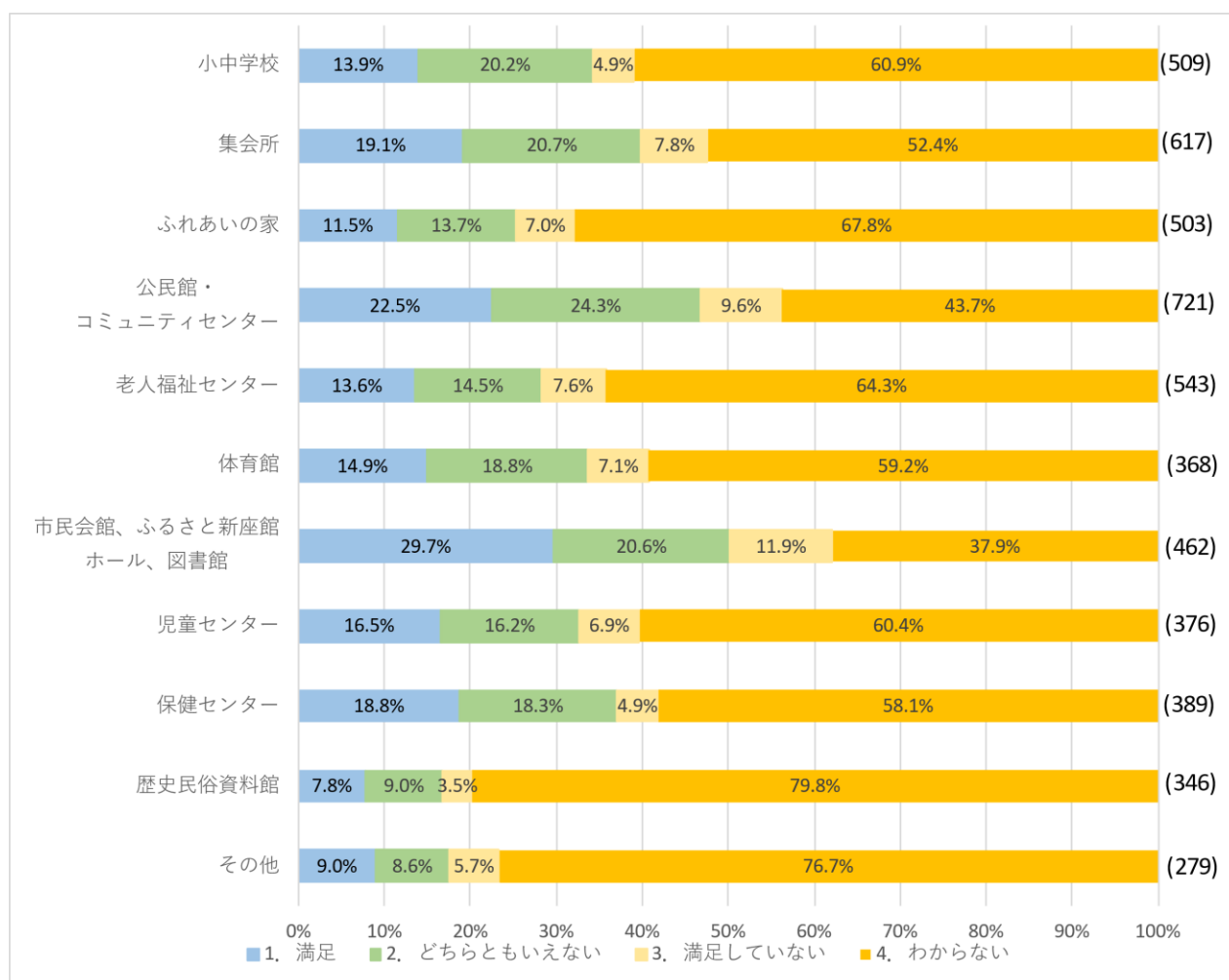
いずれの施設でも「わからない」が最も多い結果となりました。

「満足」の割合は「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が多い結果でした。

「満足していない」の割合も同様に「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」多い結果でした。

「満足」より「満足していない」の割合の方が多い施設はありませんでした。

利用頻度の高い施設では様々なご意見があり、逆に利用頻度の低い「歴史民俗資料館」は「わからない」が8割近くあり、満足度についての回答はいずれも少数でした。



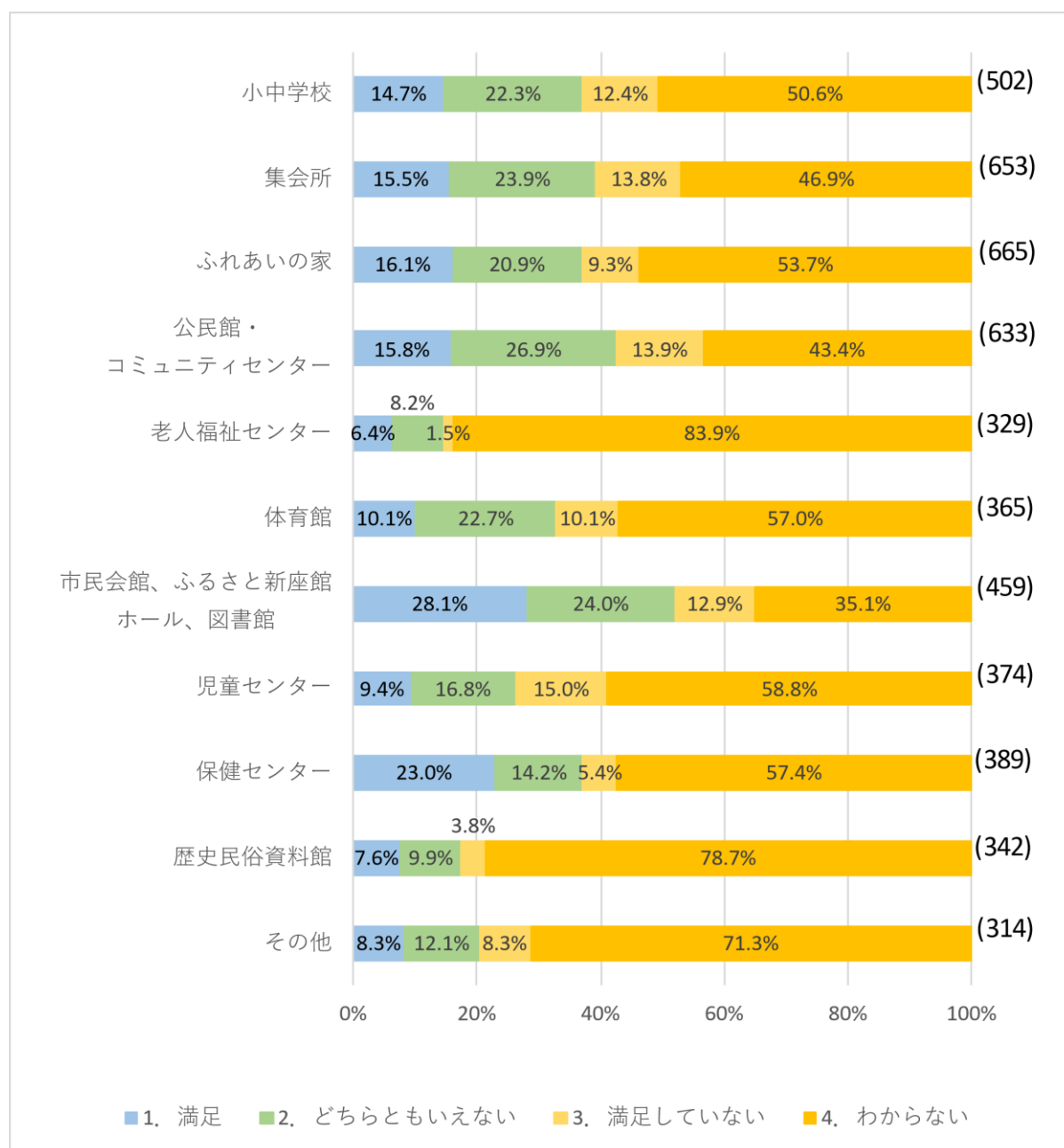
満足度② 建物や設備について

いずれの施設でも「わからない」が最も多い結果となりました。

「満足」の割合は「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が最も多く、次いで「保健センター」が多い結果でした。

「満足していない」の割合は「児童センター」が最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が多い結果でした。

「児童センター」は、「満足」より「満足していない」の割合のほうが多くなっています。



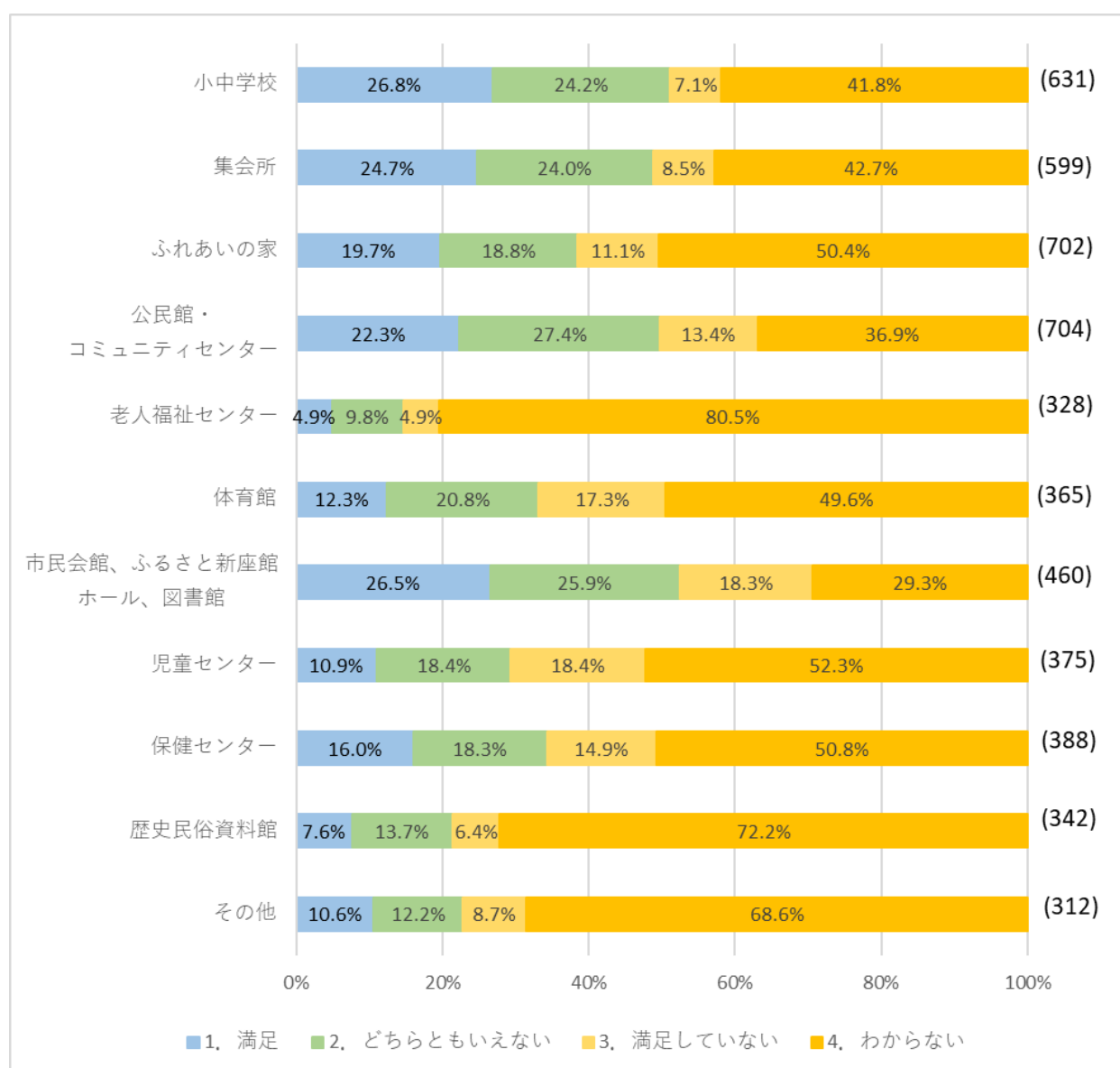
満足度③ 施設の配置状況について

いずれの施設でも「わからない」が最も多い結果となりました。

「満足」は「小中学校」が最も多く、次いで「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が多い結果でした。

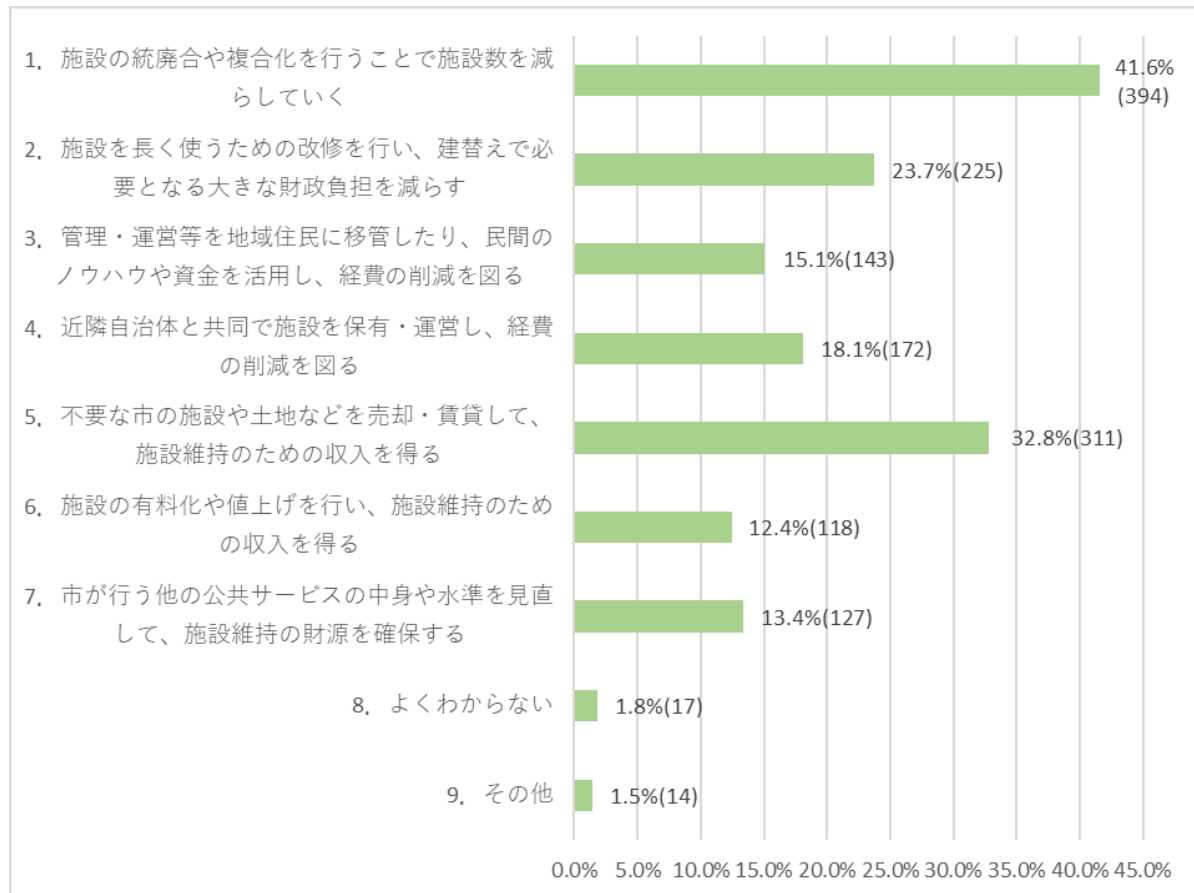
「満足していない」は「児童センター」が最も多く、次いで「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が多い結果でした。

「体育館」、「児童センター」は、「満足」より「満足していない」の割合のほうが多くなっています。



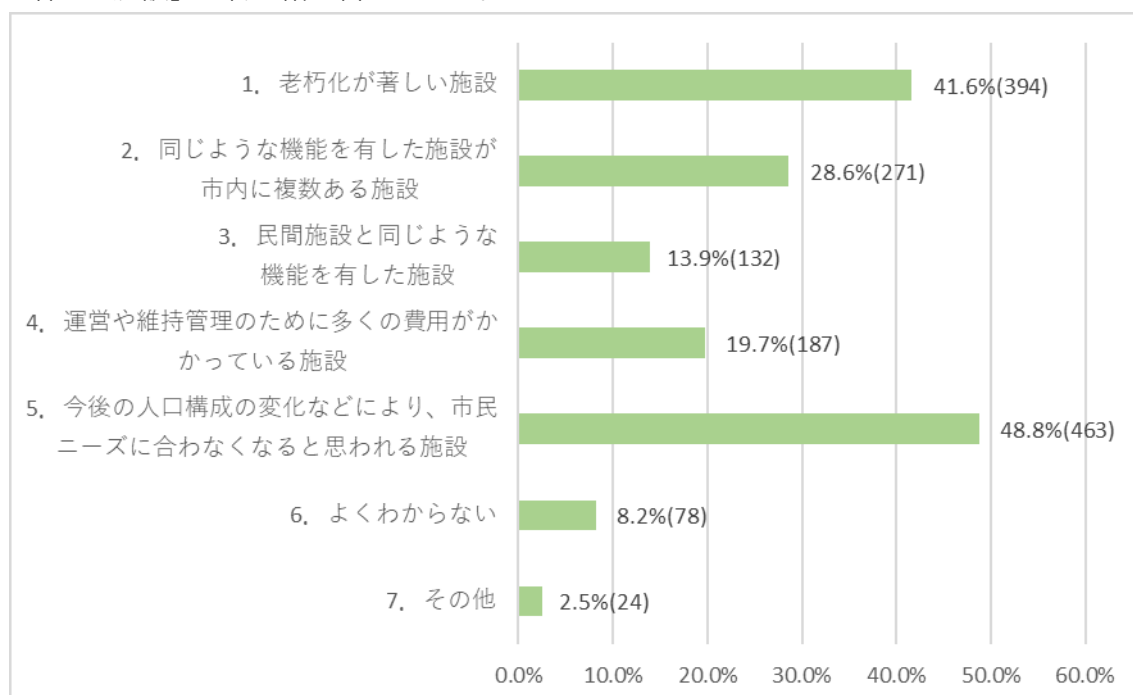
(8) 公共施設の方策(2つまで回答可)

公共施設を維持可能なものとする方策として、施設の統廃合や複合化を望む回答が4割以上、施設や土地を活用して収入を得ることを望む回答が3割以上を占めました。



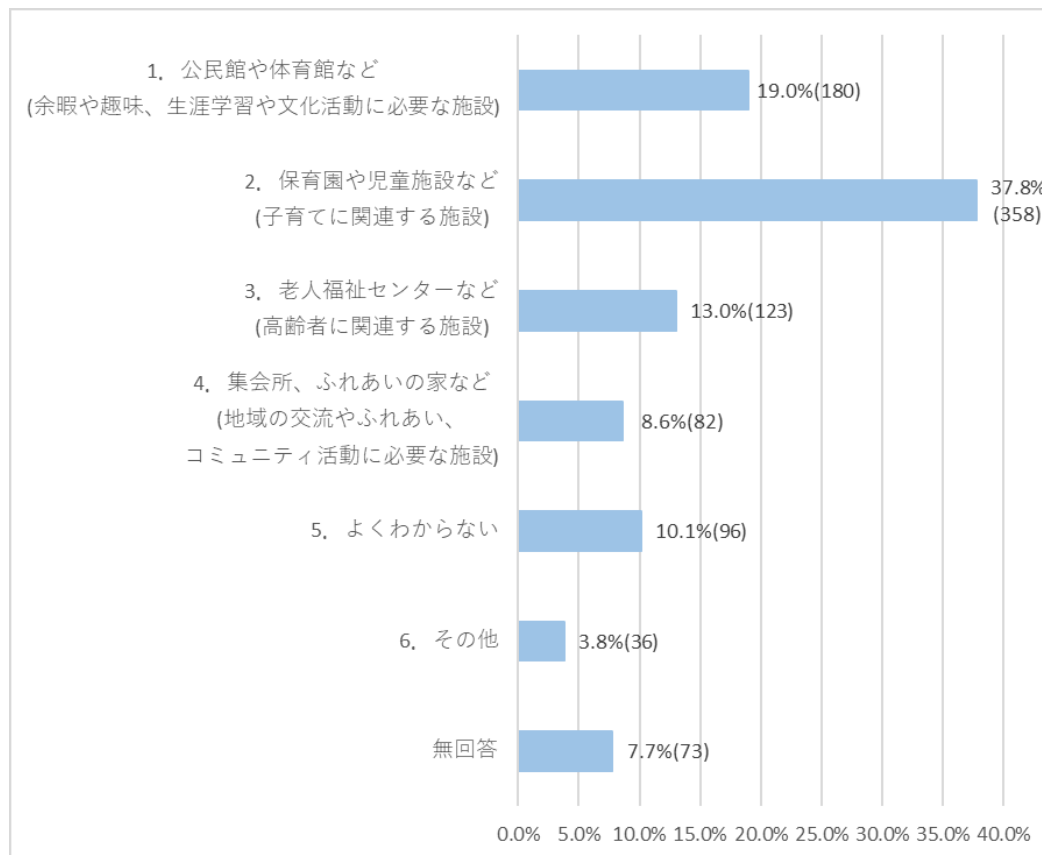
(9) 公共施設の統合・削減(2つまで回答可)

統合及び削減すべき施設は「市民ニーズに合わなくなると思われる施設」が半数近く、「老朽化が著しい施設」が約4割を占めました。



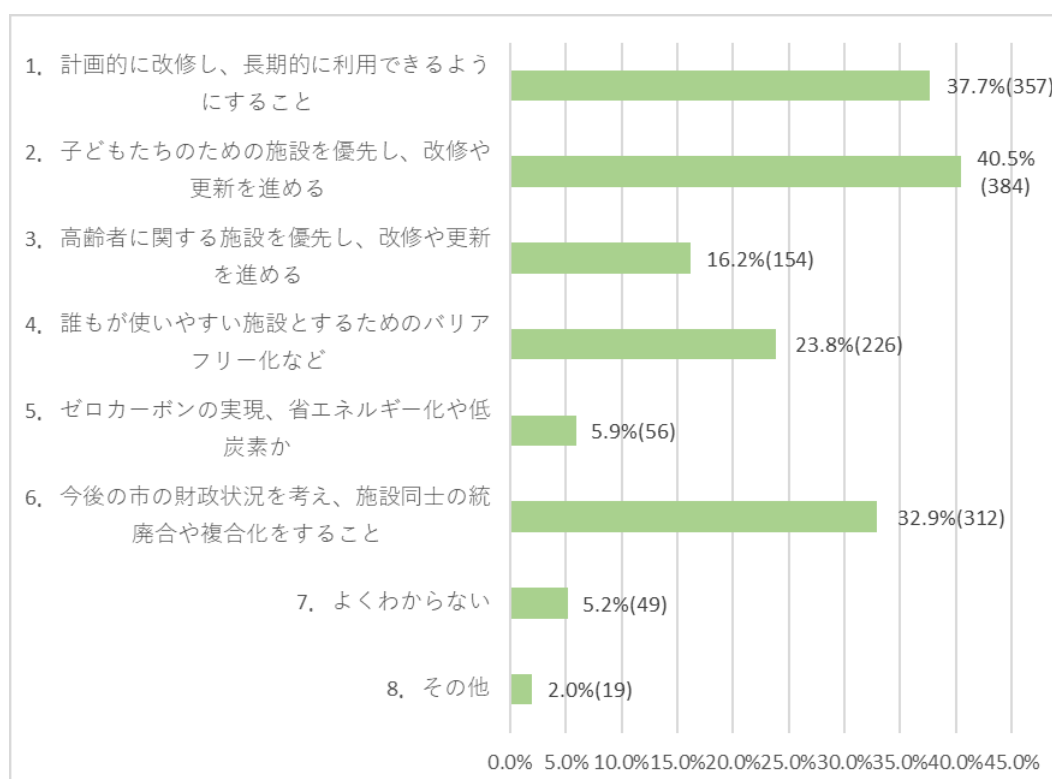
(10) 維持したほうがいい施設

「保育園や児童施設など(子育てに関連する施設)」が約4割を占める結果となりました。



(11) 公共施設の施策や事業で重視すべき方針(2つまで回答可)

「子どもたちのための施設を優先し、改修や更新を進める」が4割以上、「計画的に改修し、長期的に利用できるようにすること」が4割近くを占めました。



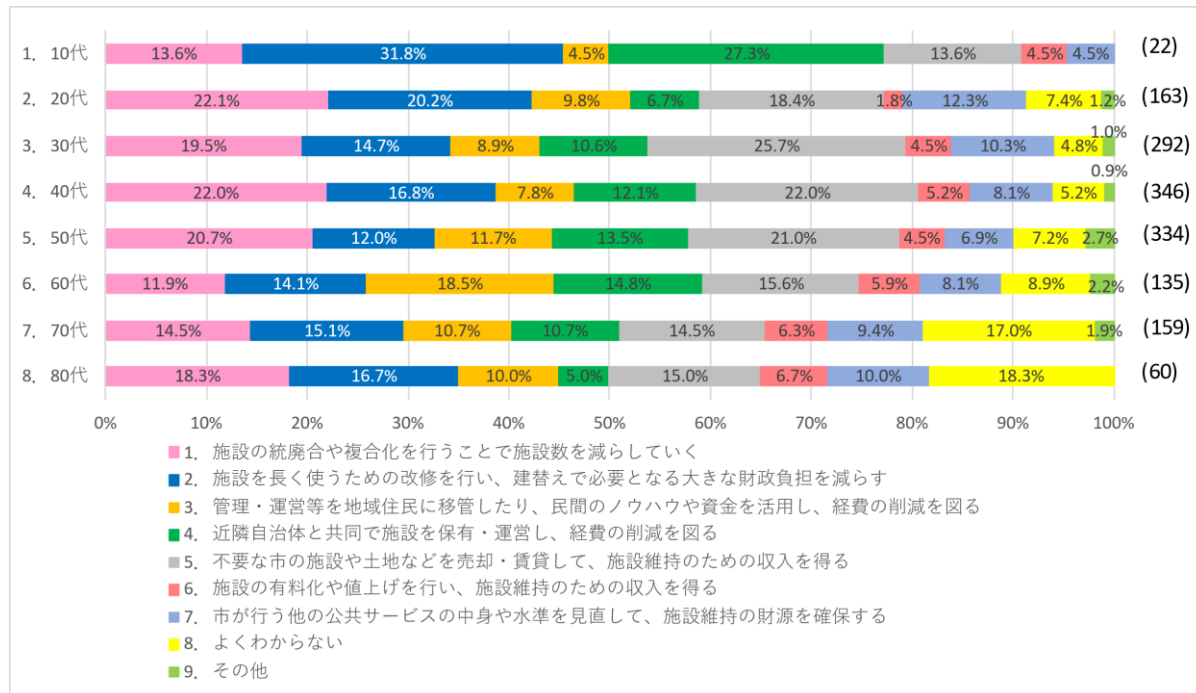
1、クロス集計

(1)年代

1) 方策

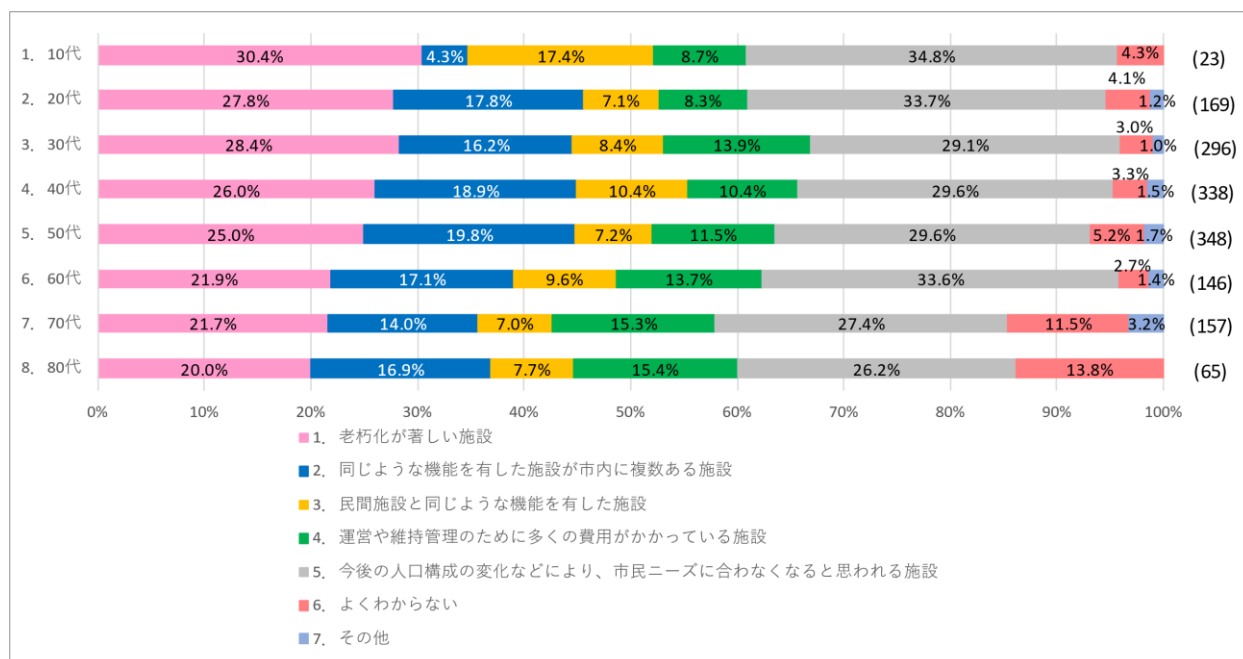
すべての年代で施設の統廃合や長寿命化、不要な施設の売却が多い結果となりました。

母数は少ないのですが10代では「近隣自治体と共同で施設を保有する」の割合が多いのが特徴です。



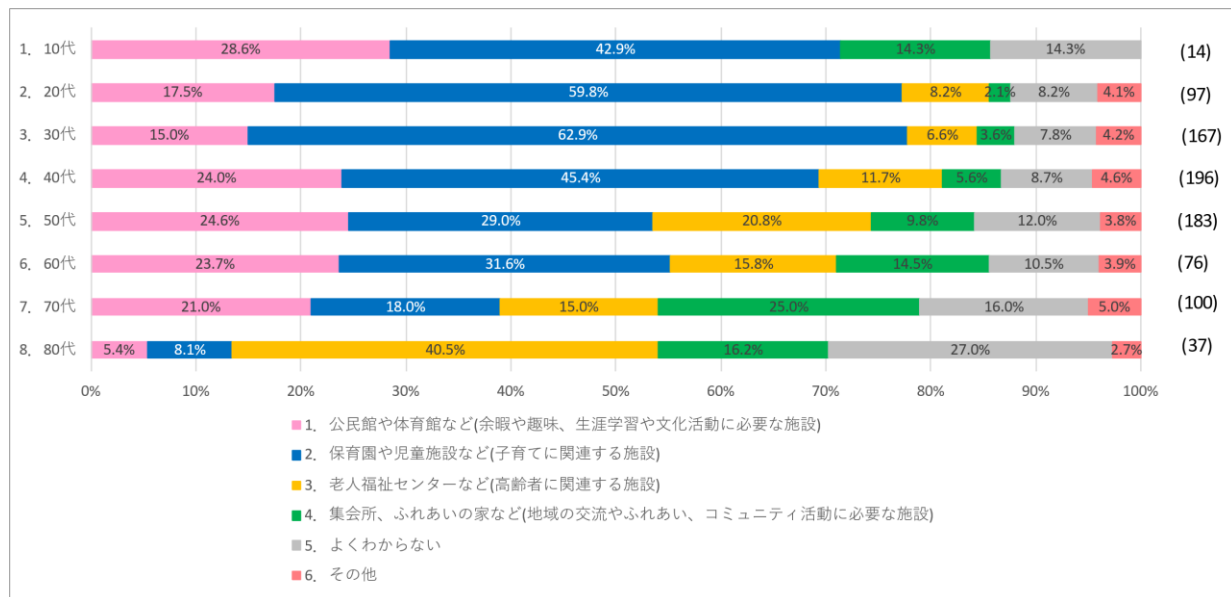
2) 削減

すべての世代ほぼ同様の傾向を示しており、「老朽化が著しい施設」や「ニーズに合わなくなるとされる施設」の削減が支持される結果となりました。



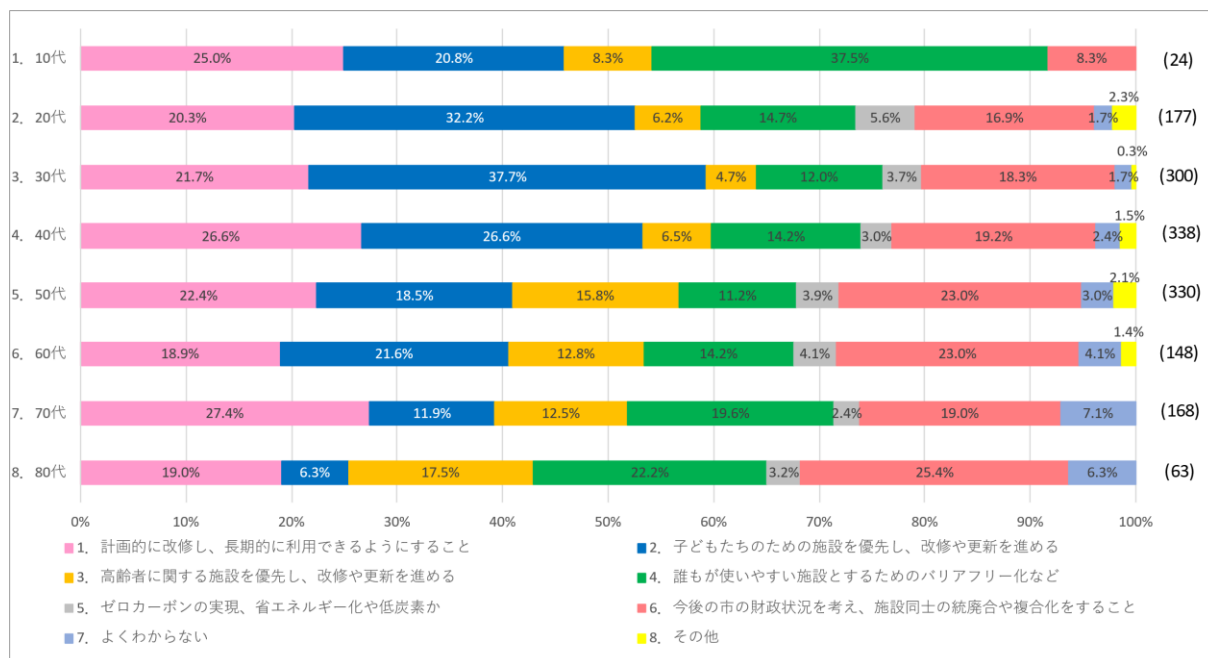
3) 維持

10代から60代で「保育園や児童施設など(子育てに関連する施設)」の維持が支持されており、80代では「老人福祉センターなど(高齢者に関連する施設)」が支持されています。



4) 重視

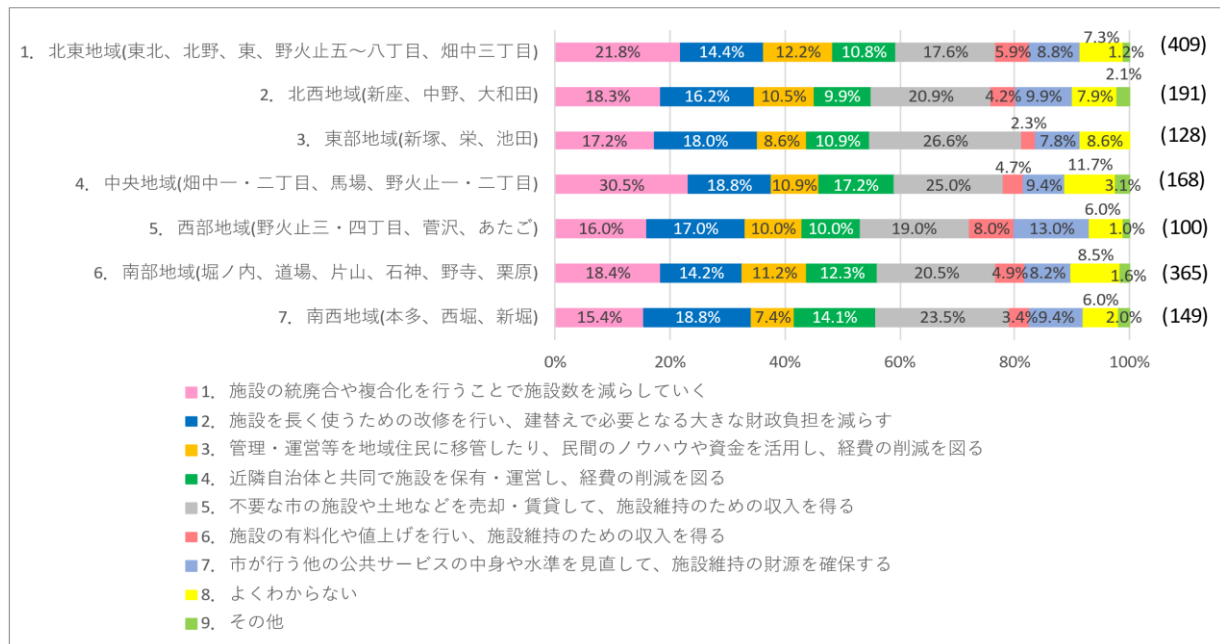
20代から40代では「子どもたちのための施設を優先し、改修や更新を進める」を最も重視すべきと考え、50代、60代では「今後の市の財政状況を考え、施設同士の統廃合や複合化をすること」が、70代では「計画的に改修し、長期的に利用できるようにすること」が、10代では「誰もが使いやすい施設とするためのバリアフリー化など」がそれぞれ最も重視すべきと考えられています。



(2)地区

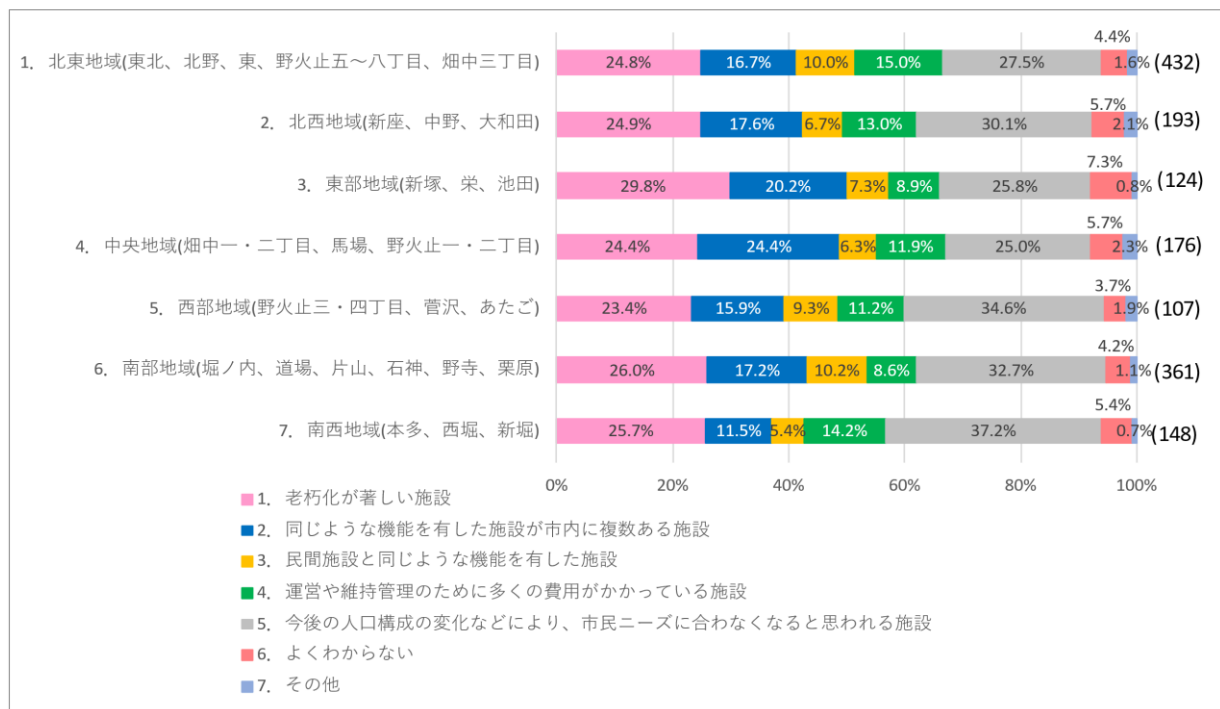
1) 方策

全ての地域でほぼ同一の結果となり、統廃合や長寿命化、除却が支持されています。



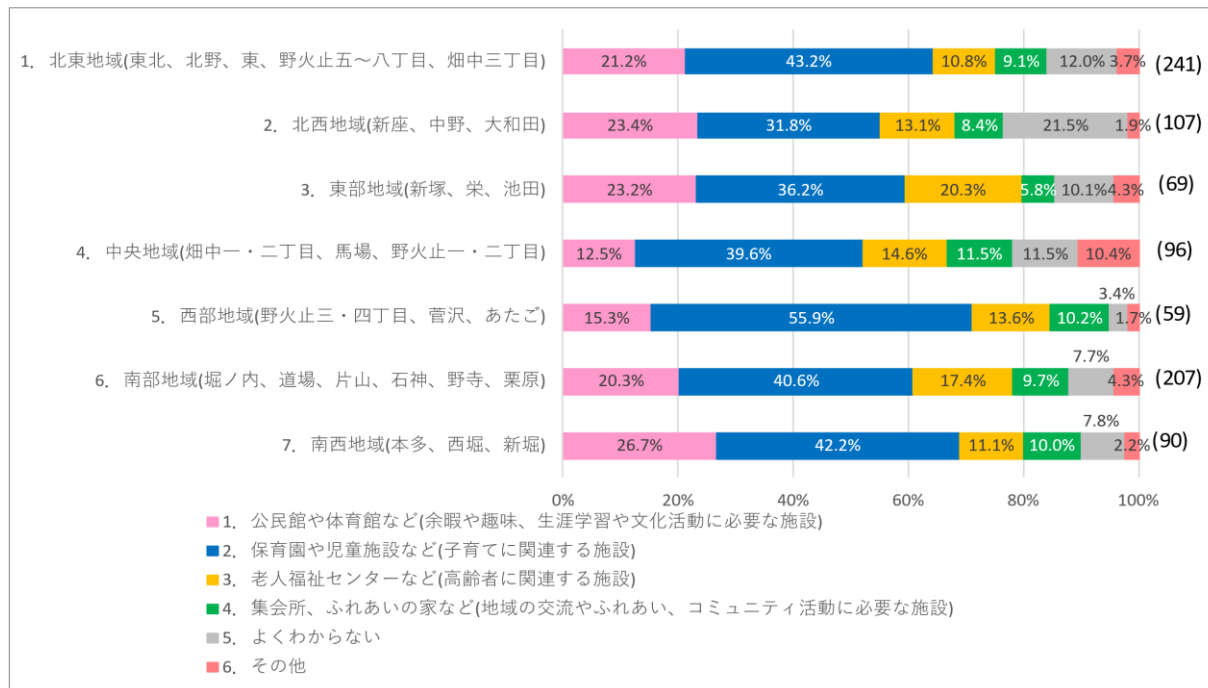
2) 削減

全ての地域で「老朽化が著しい施設」やニーズに合わなくなるとされる施設の削減が望まれています。



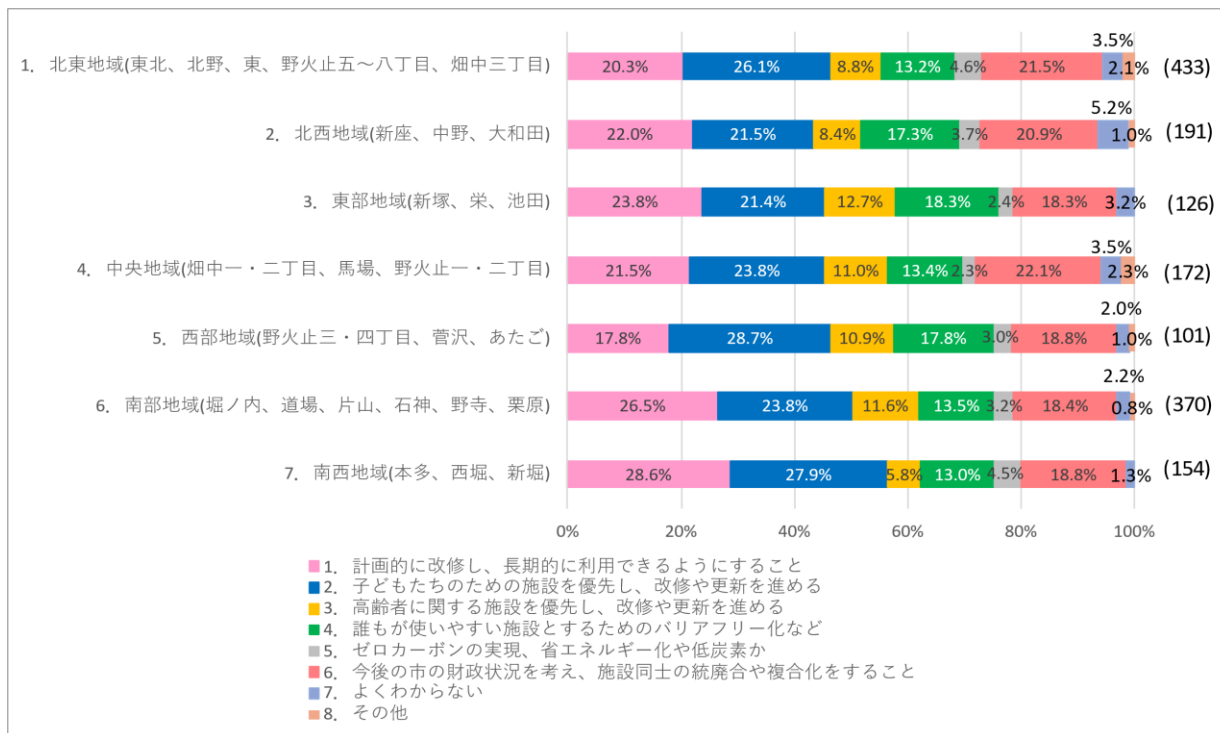
3) 維持

全ての地域で「保育園や児童施設など(子育てに関連する施設)」の維持が望まれています。



4) 重視

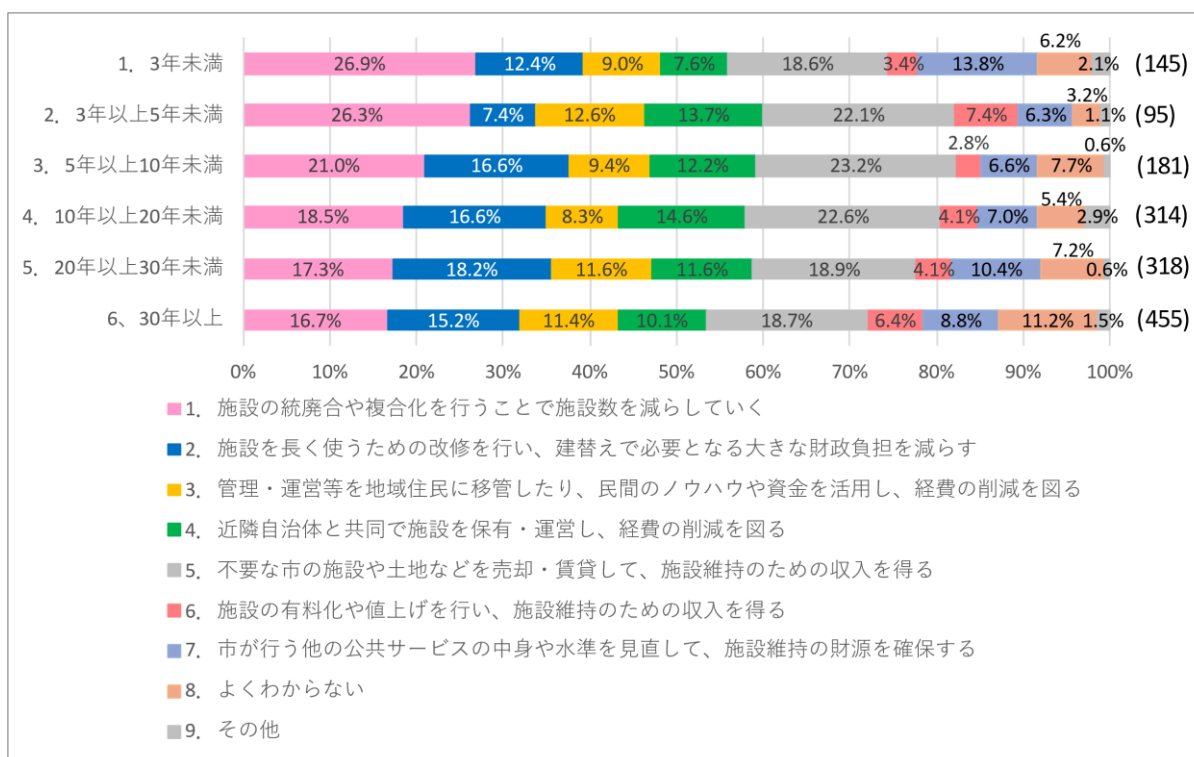
全体では子供たちの施設が最も重視されていますが、北東地域ではバリアフリー化、西部地域、南部地域では施設同士の統廃合や複合化が、南西地域では計画的な改修による長期利用がそれぞれ最も重視されています。



(3)居住年数

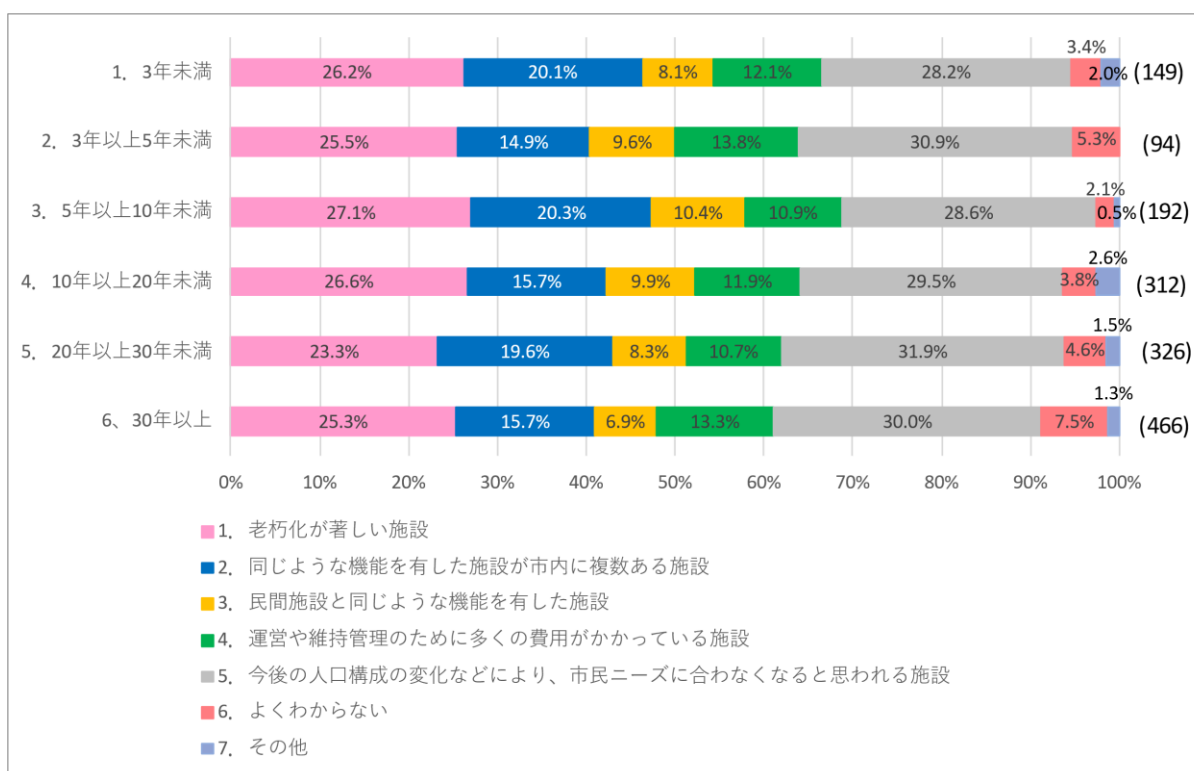
1) 方策

居住年数が長いほど統廃合や複合化の方策の割合が減少する傾向にあります。



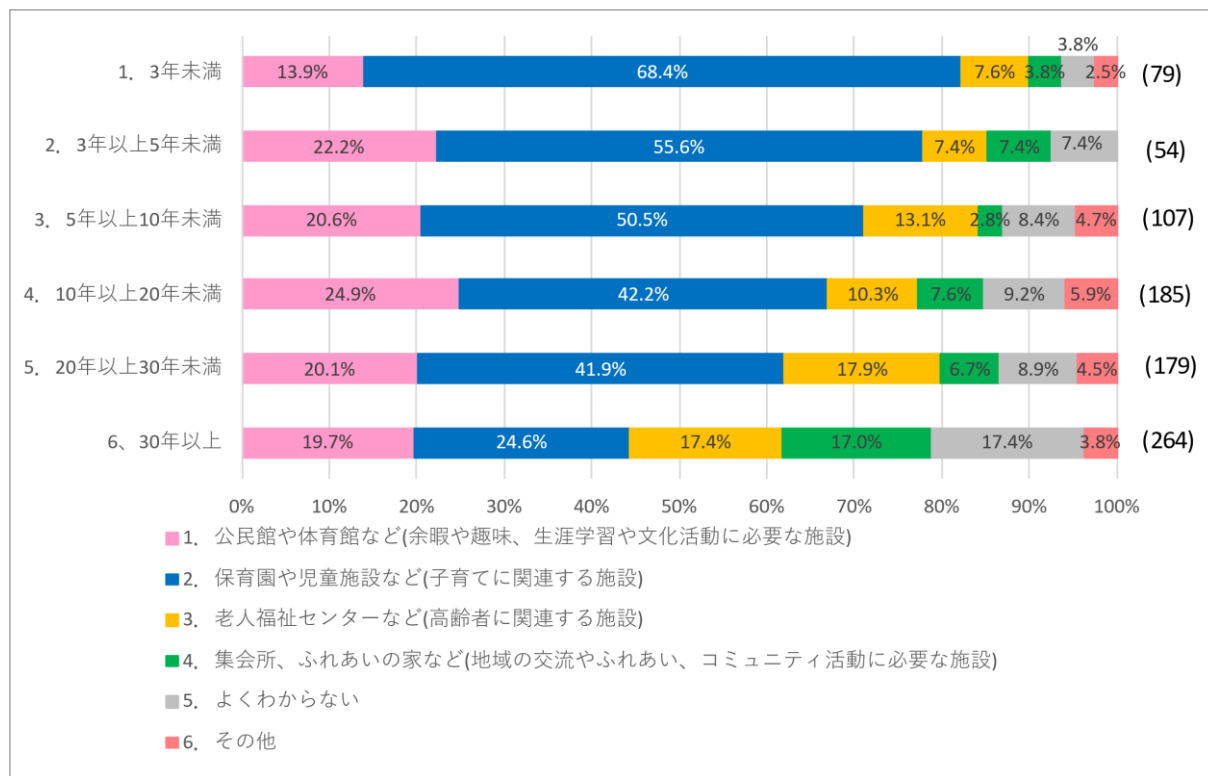
2) 削減

削減については居住年数で大きな差はなく、市民ニーズに合わなくなる施設の削減が最も支持されています。



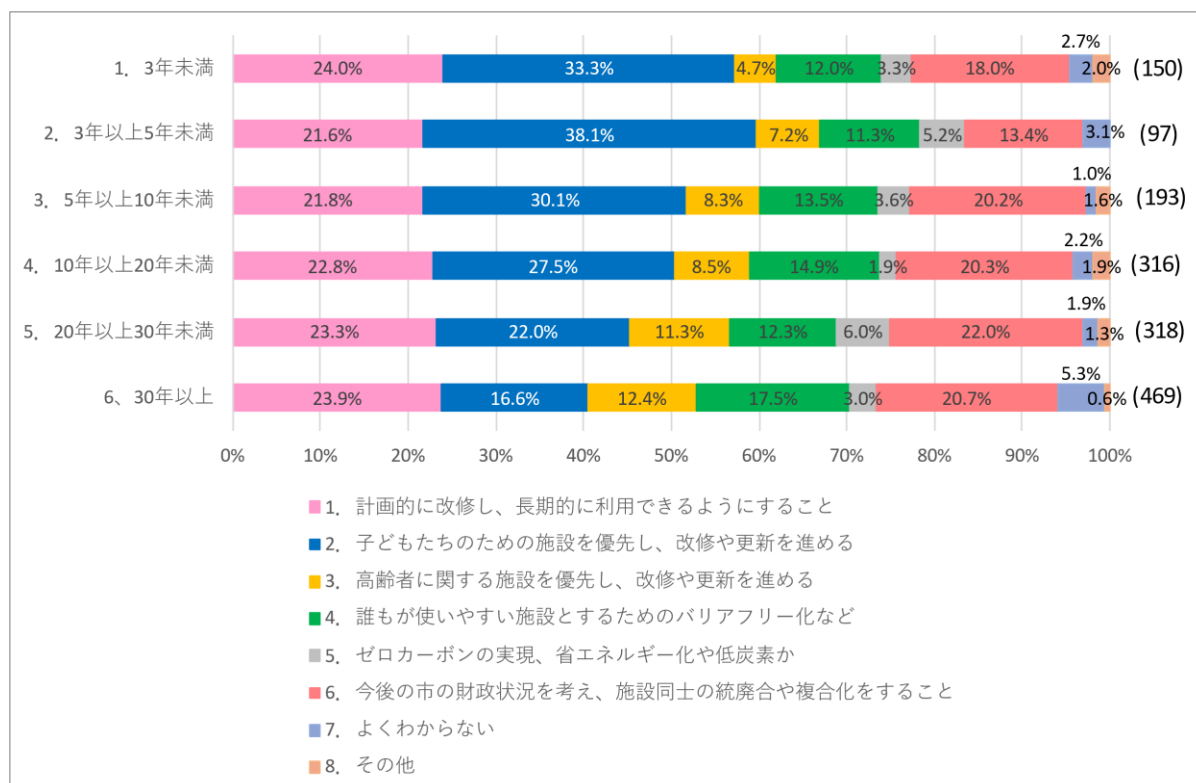
3) 維持

施設の維持については、居住年数が少ないほど「保育園や児童施設など(子育てに関連する施設)」の維持を指示する割合が多くなっています。



4) 重視

居住年数が20年未満では子供たちの施設が重視され、居住年数が長くなると財政状況を考える施策が重視される傾向にあります。

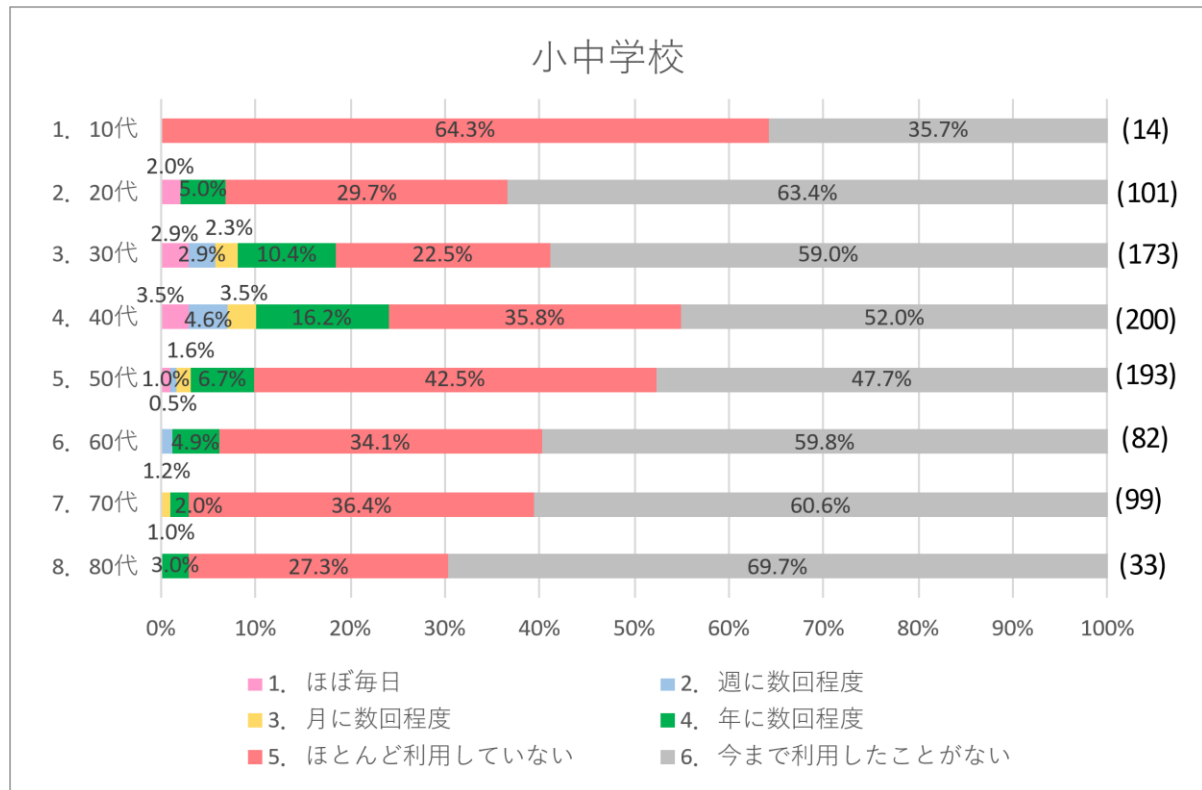


(4)年代×利用頻度

年代・施設ともにはばつきがありますが「公民館、コミュニティセンター」と「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」では「年に数回程度」以上の利用者が多く現れた結果となりました。

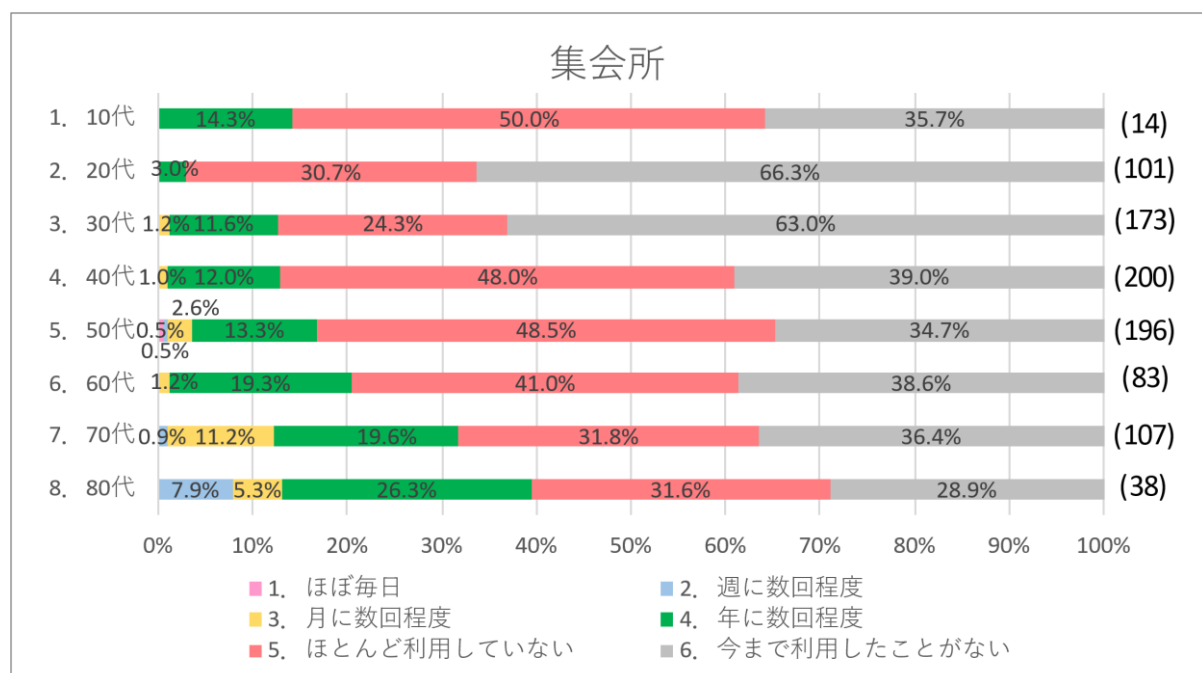
・小中学校

10代以外、約5割以上が利用したことがありません。

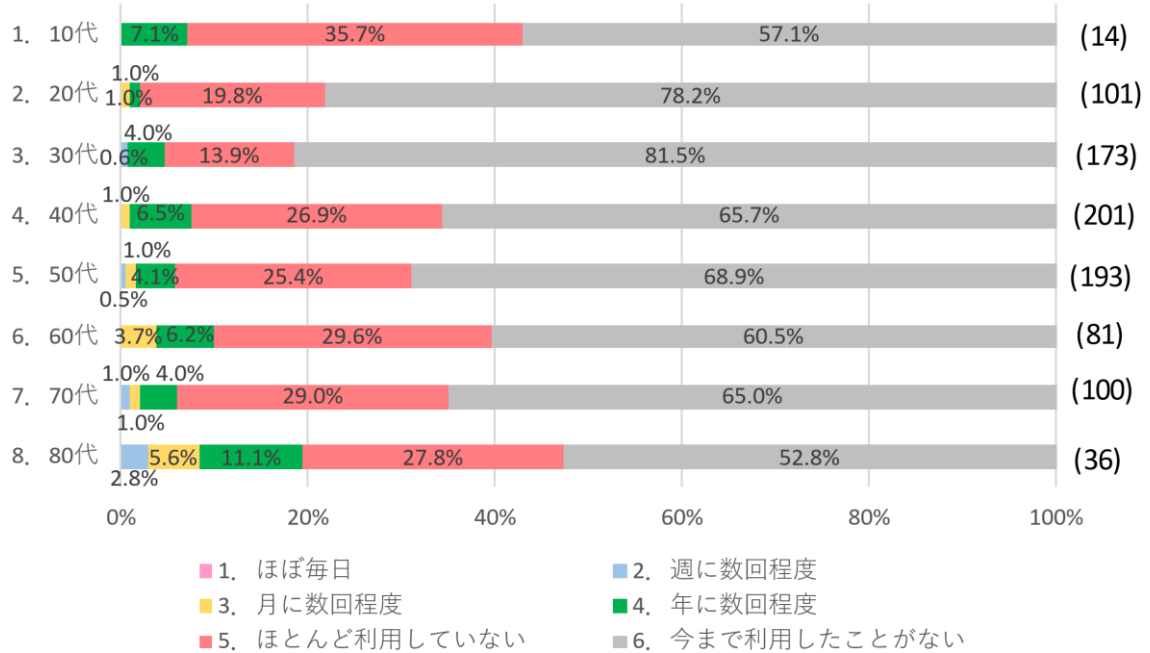


・集会所

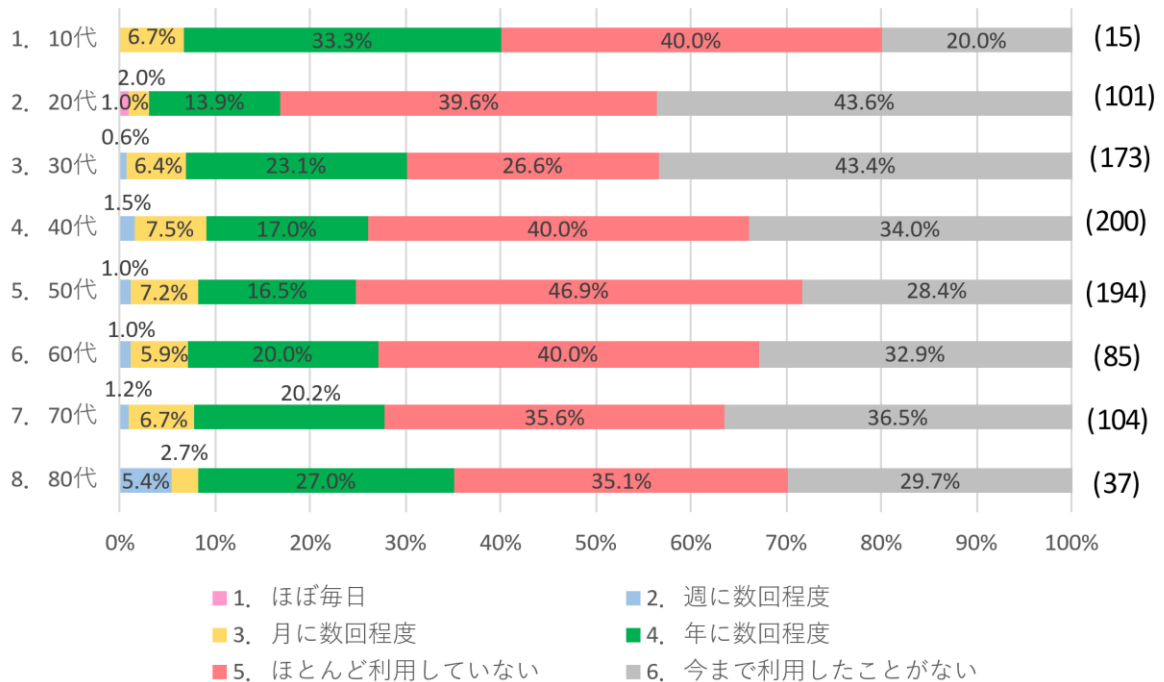
20代、30代では6割以上が利用したことがありません。



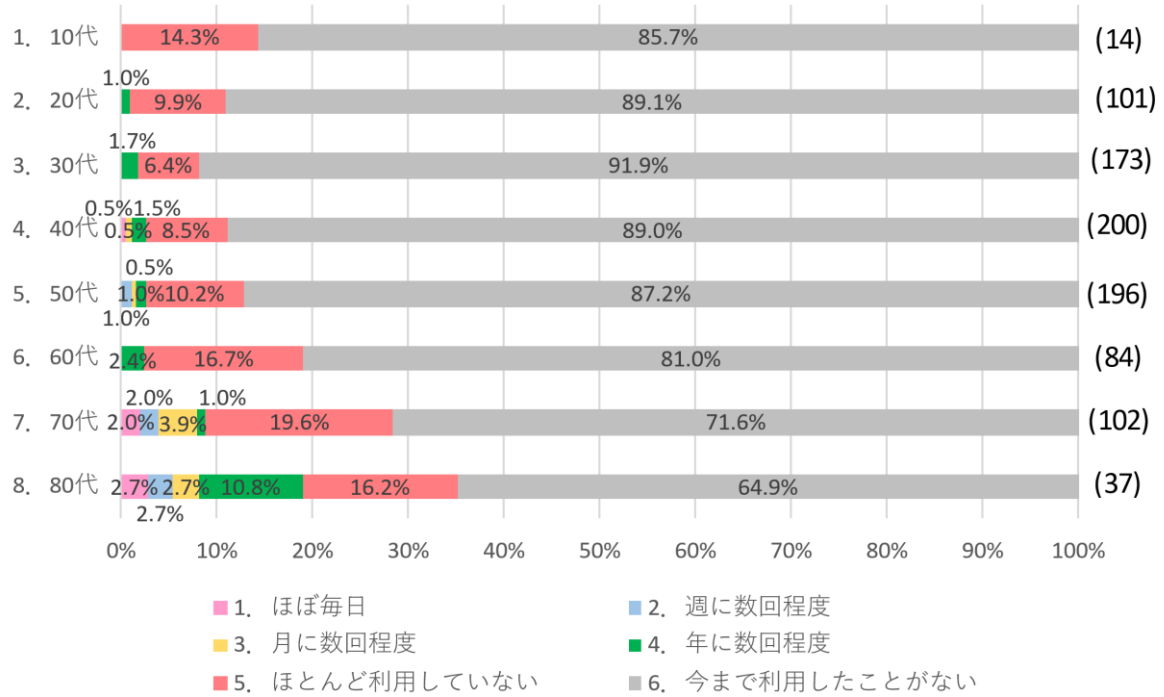
ふれあいの家



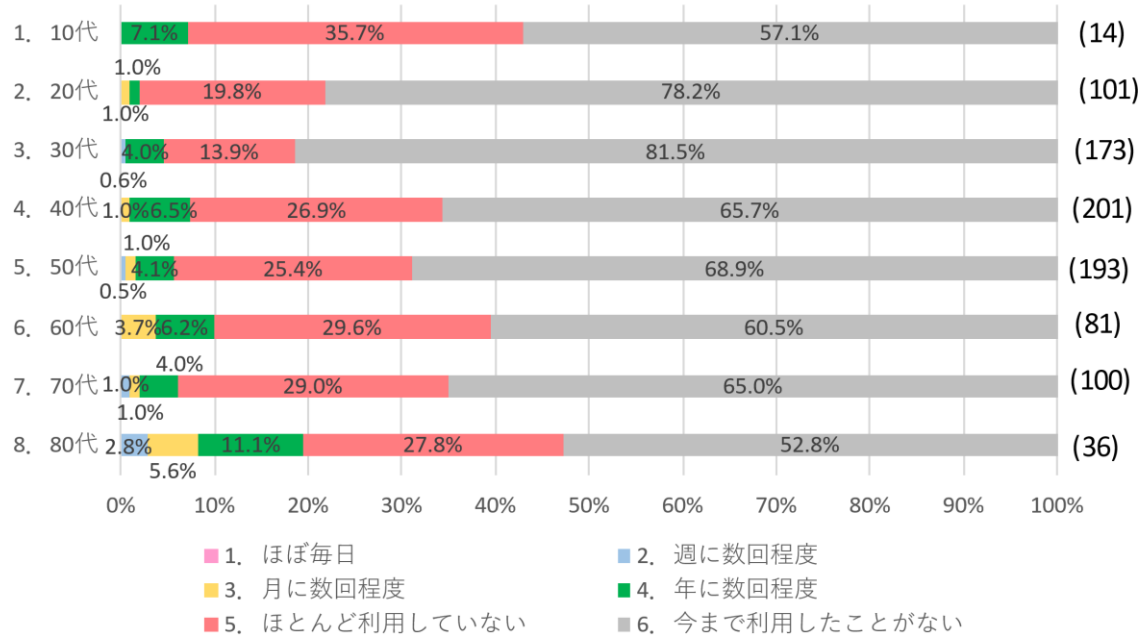
公民館、コミュニティセンター



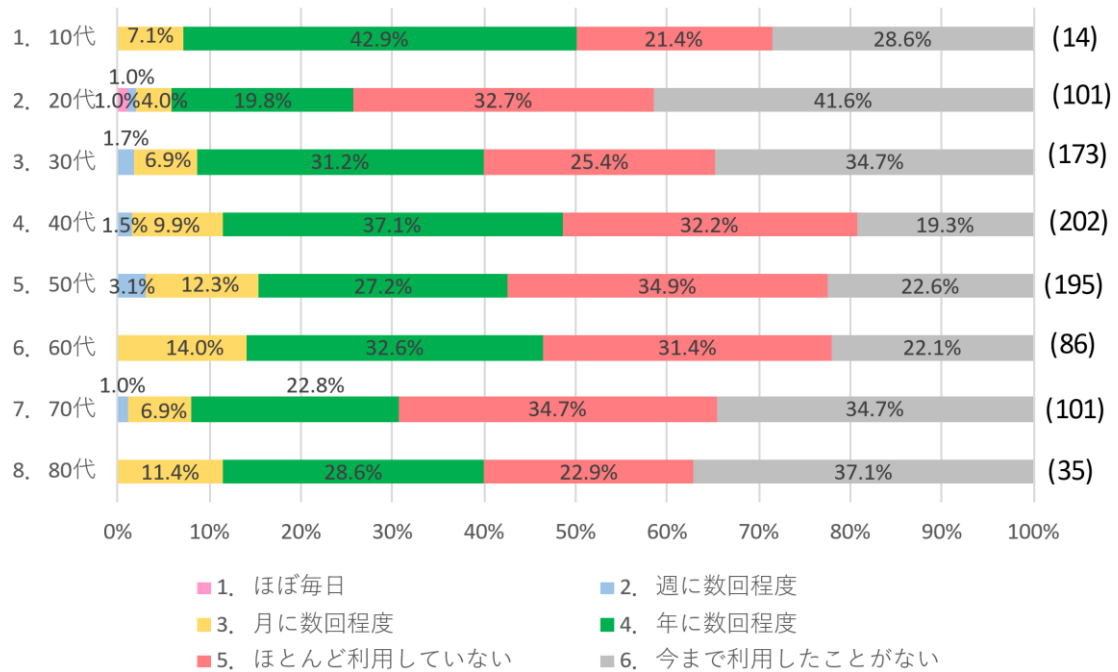
老人福祉センター



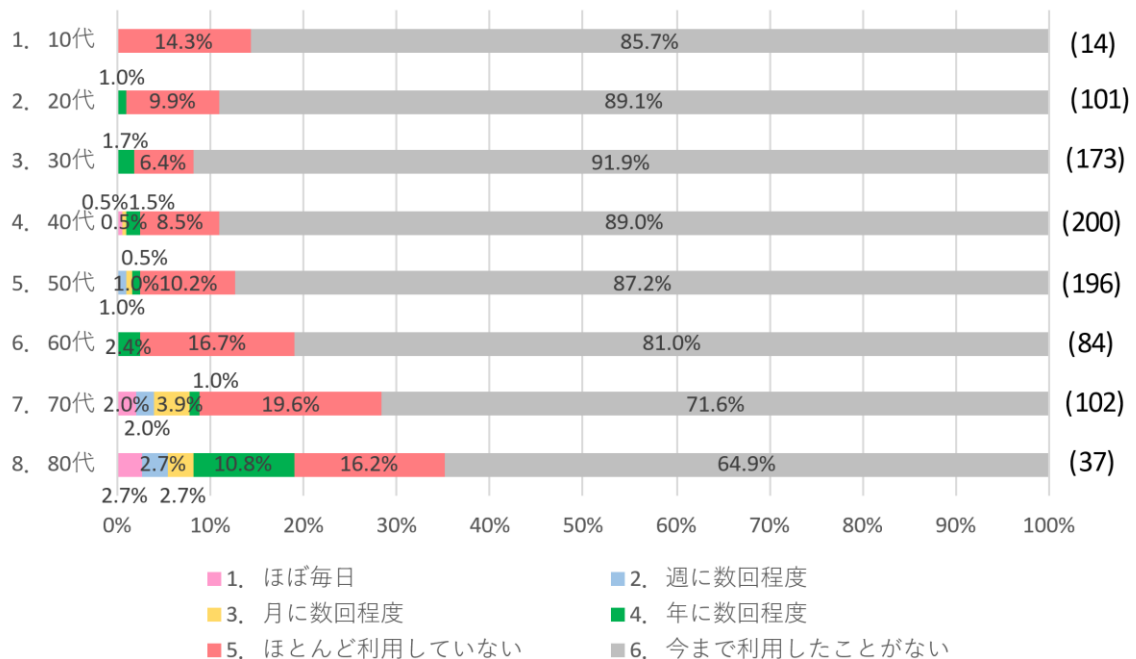
体育館



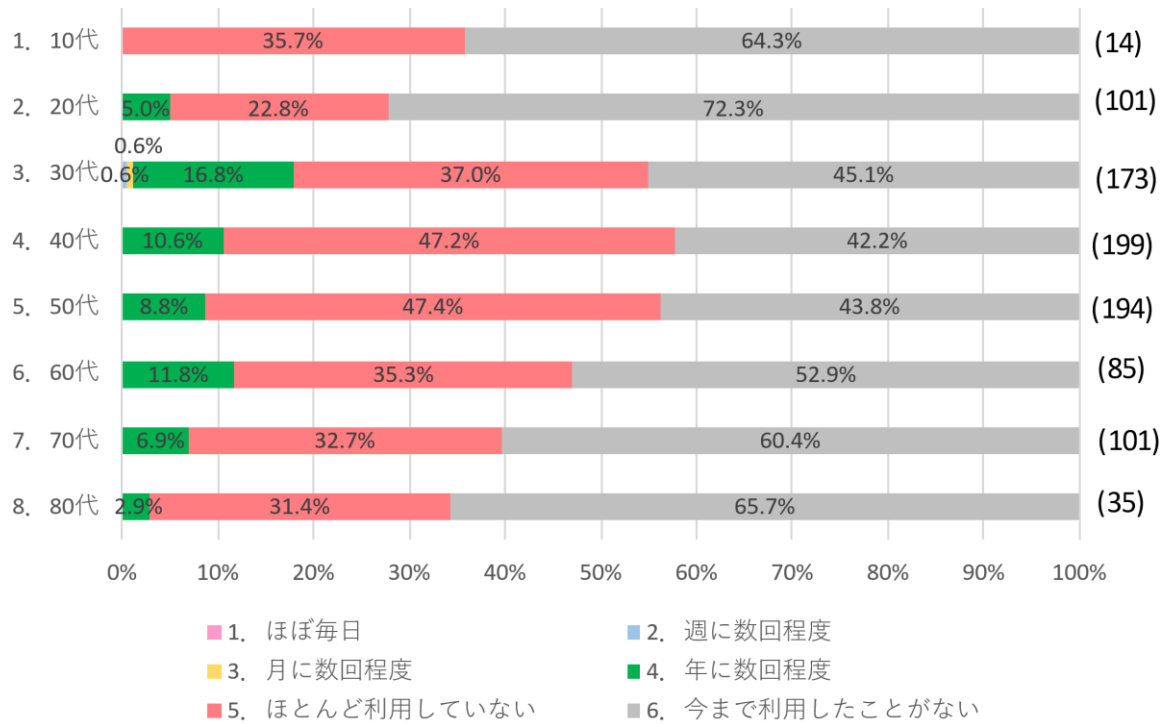
市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館



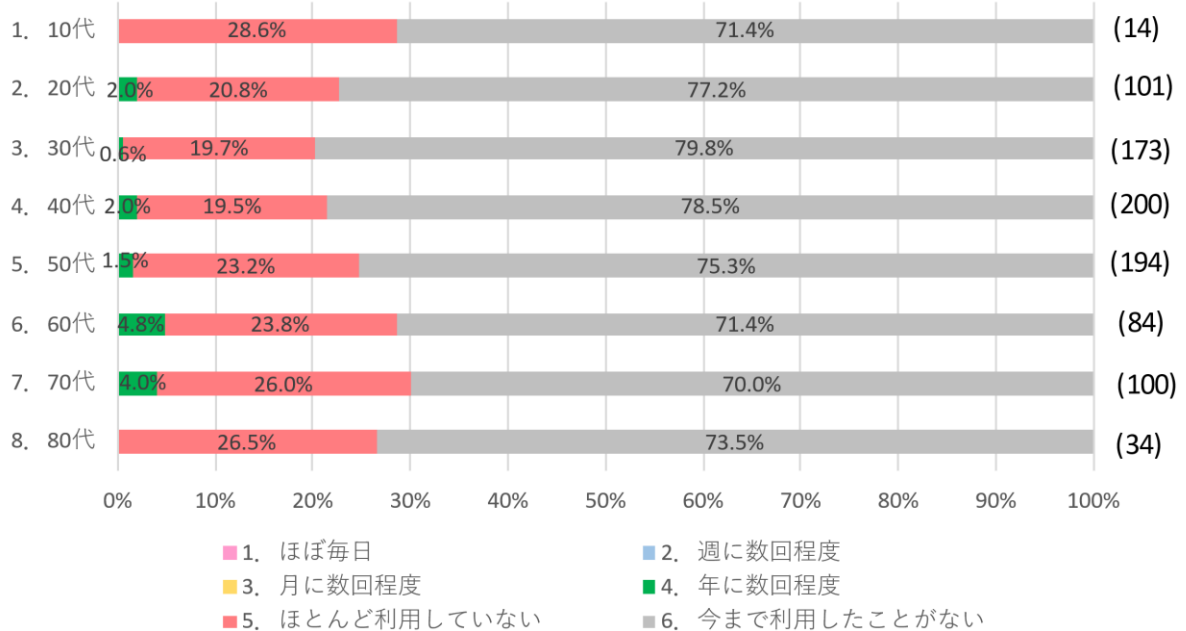
児童センター

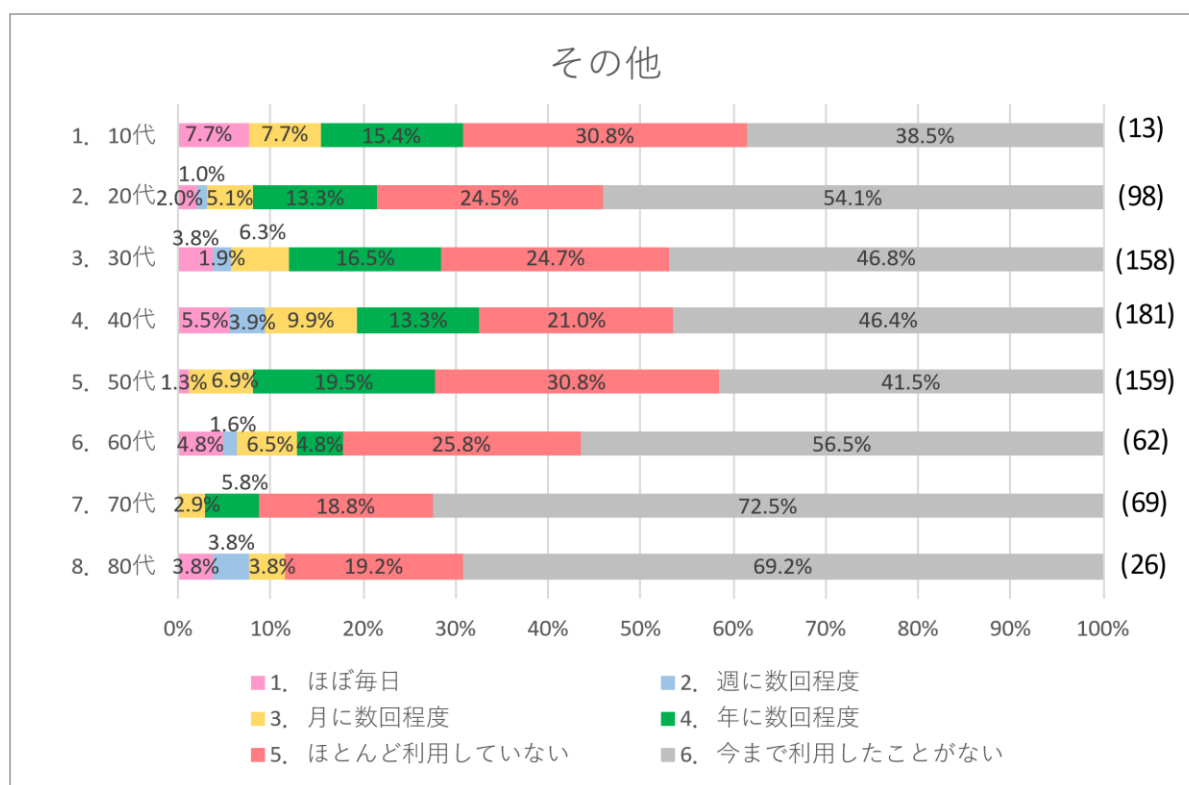


保健センター



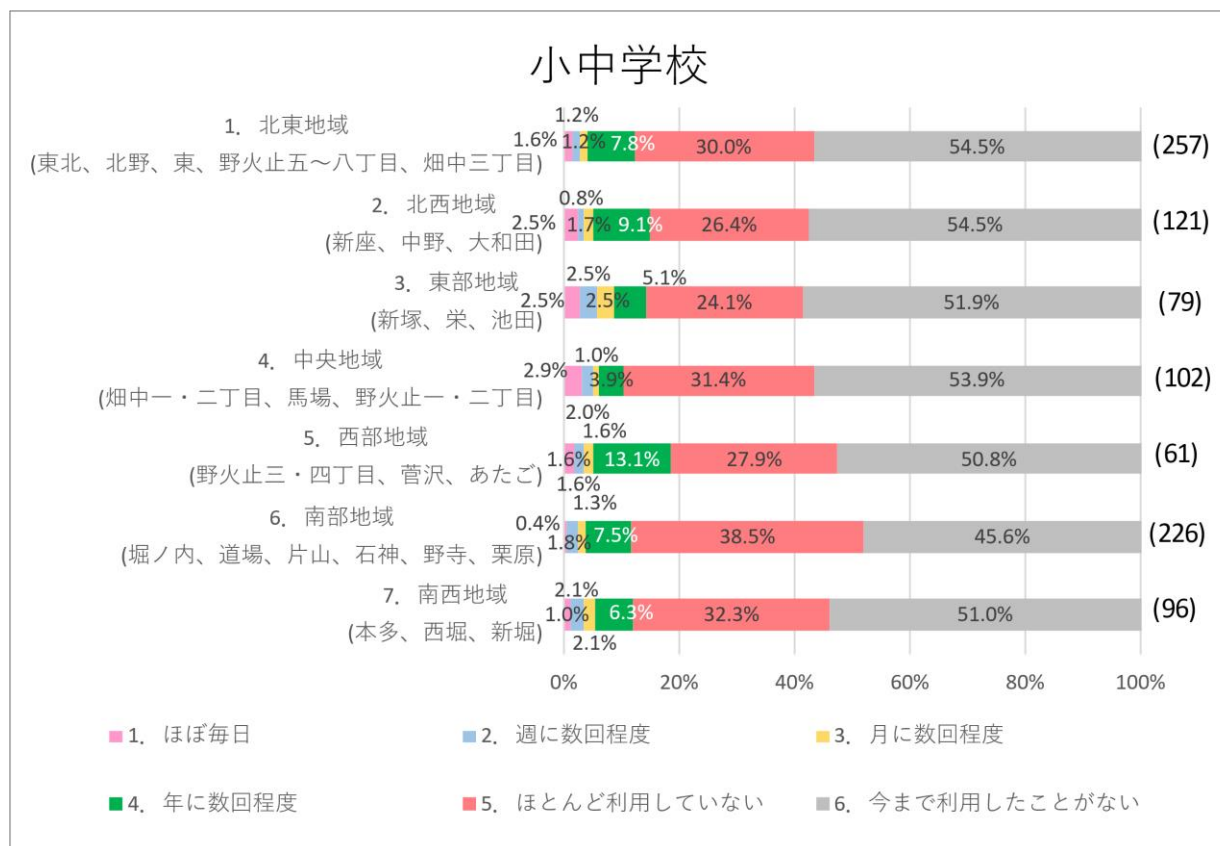
歴史民俗資料館



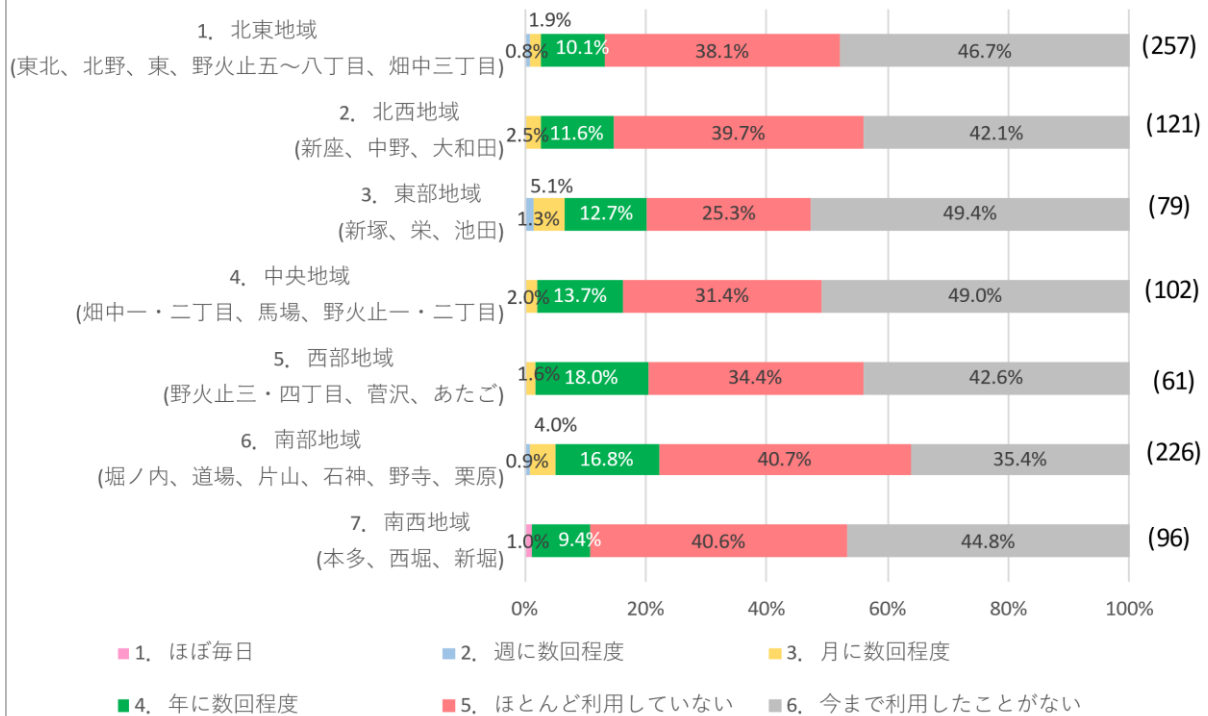


(5)地域×利用頻度

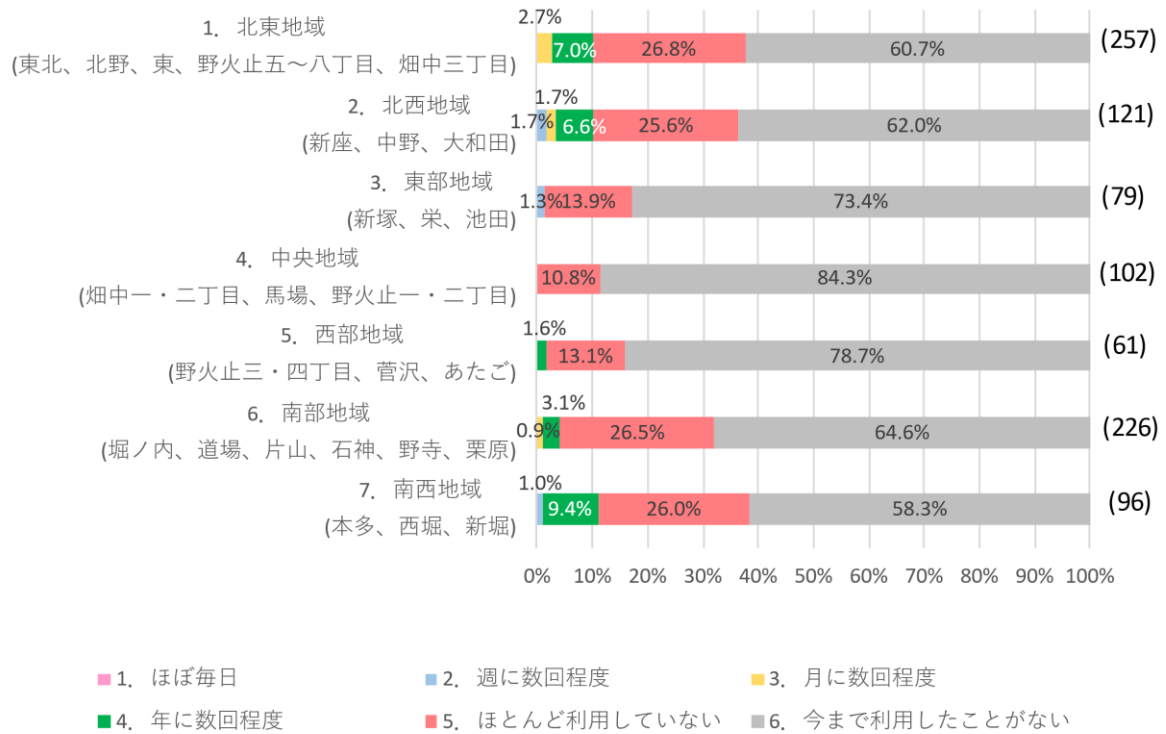
いずれの施設でも「ほとんど利用したことがない」と「今まで利用したことがない」が最も多い回答となり、これは全ての地域で共通でした。



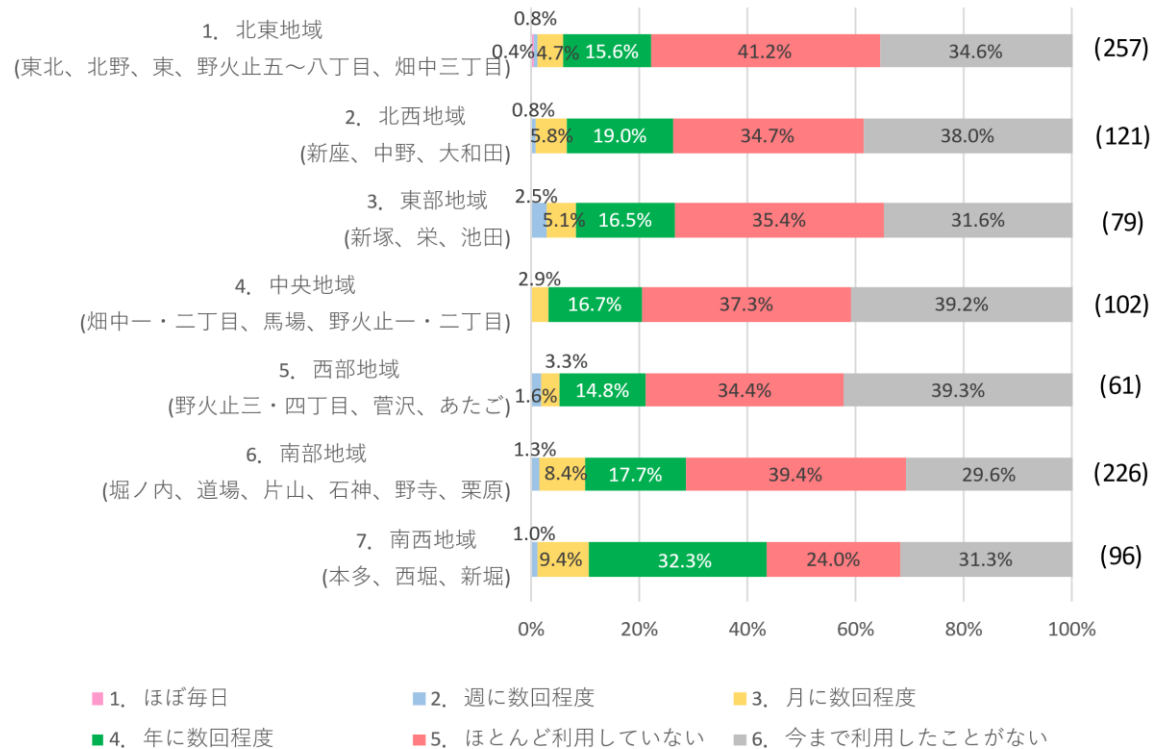
集会所



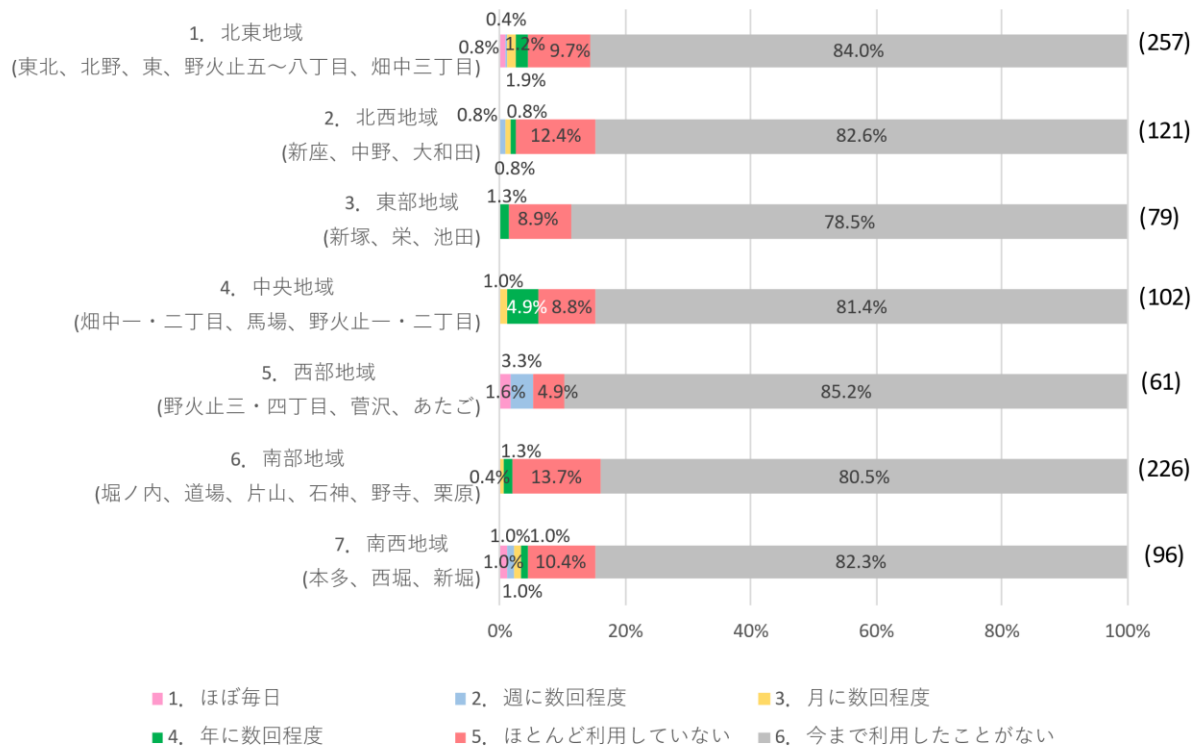
ふれあいの家

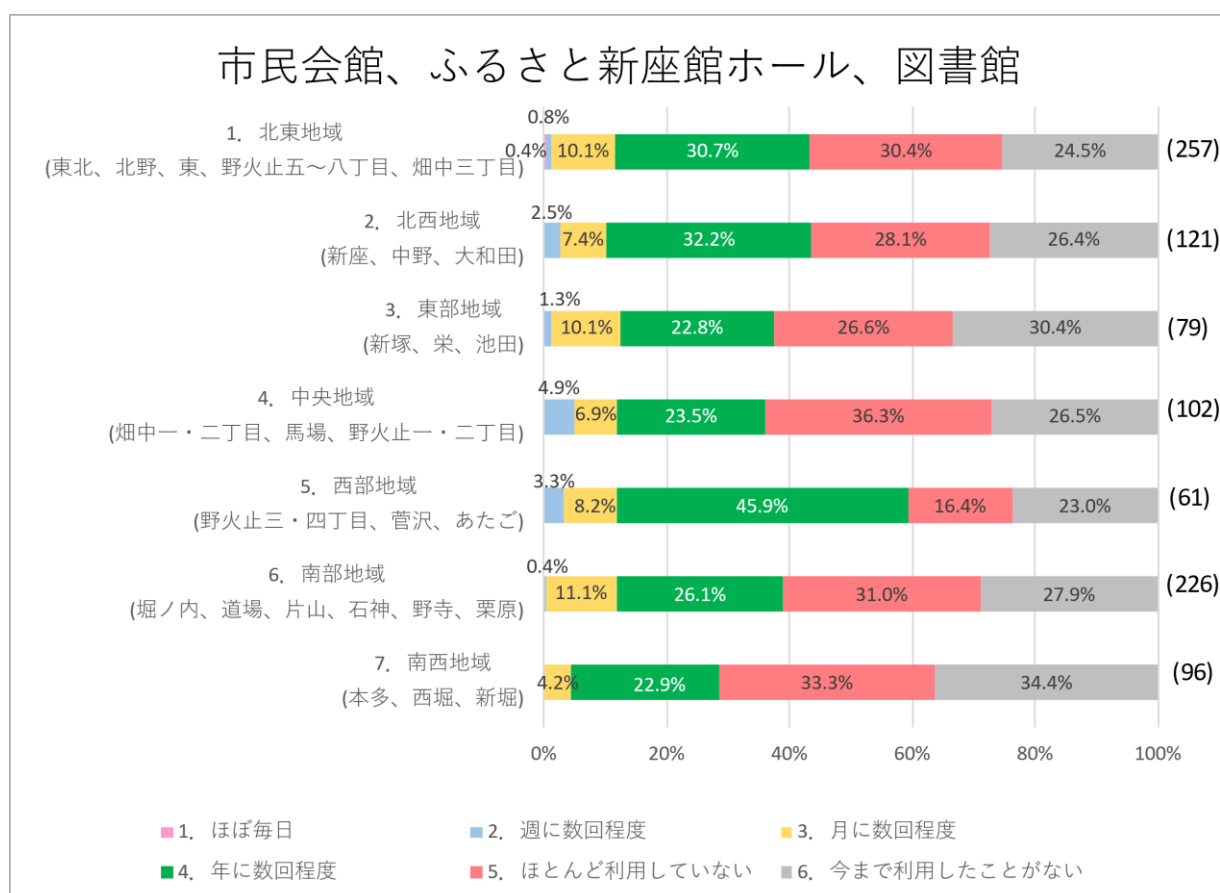
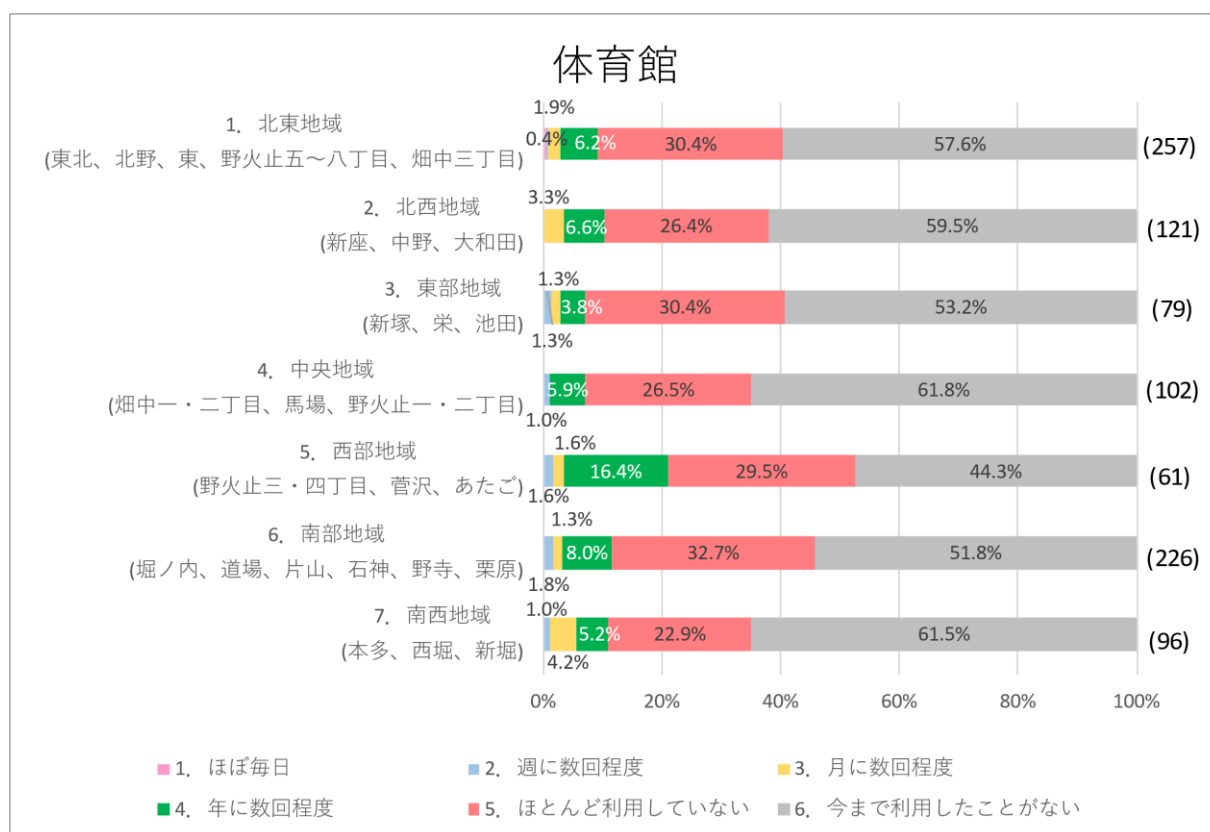


公民館、コミュニティセンター

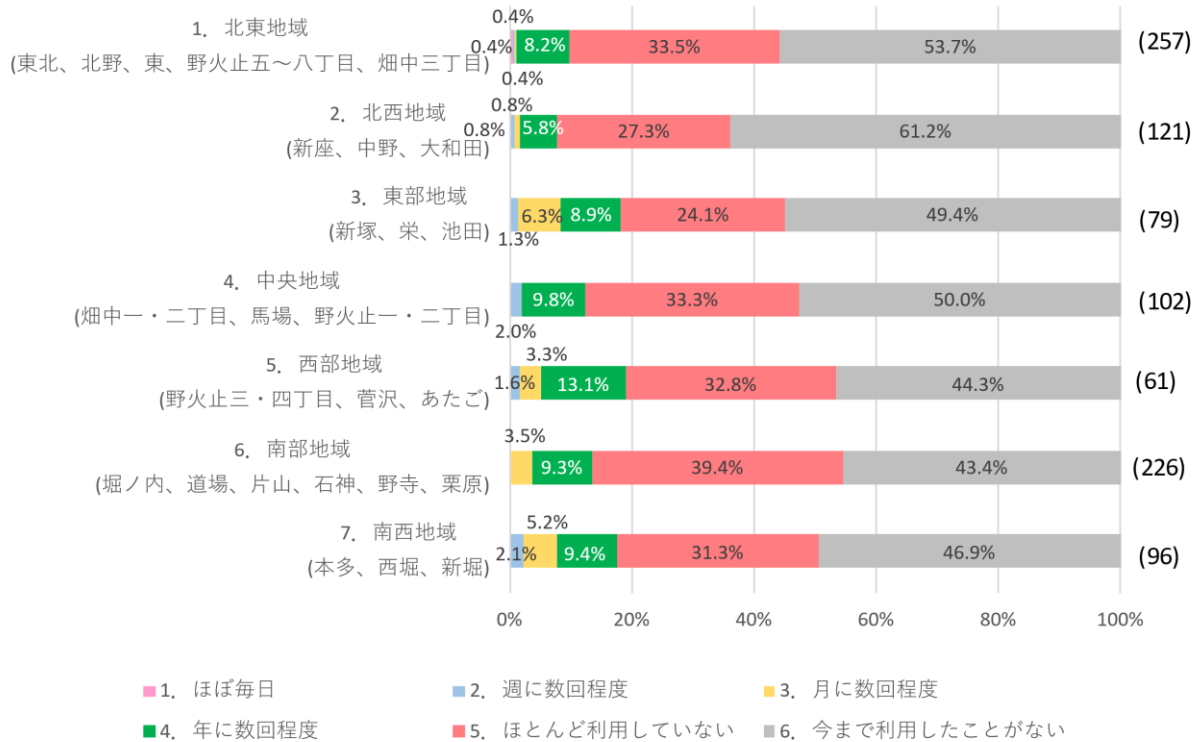


老人福祉センター

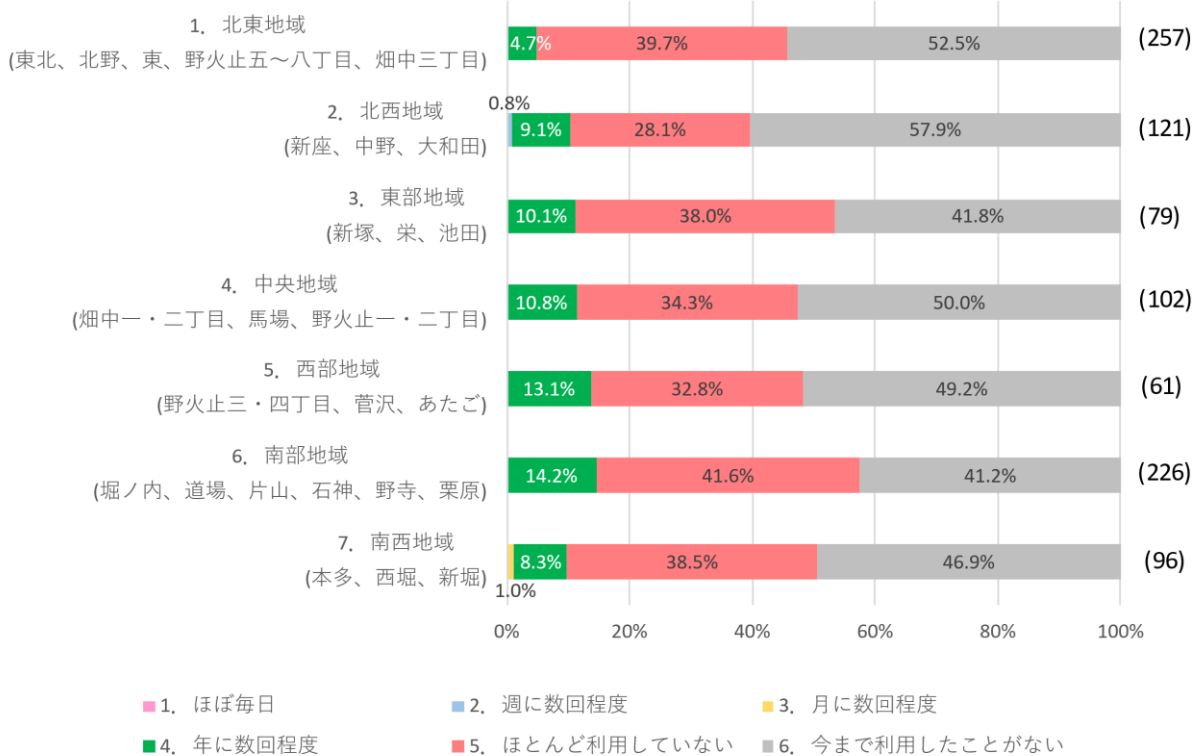




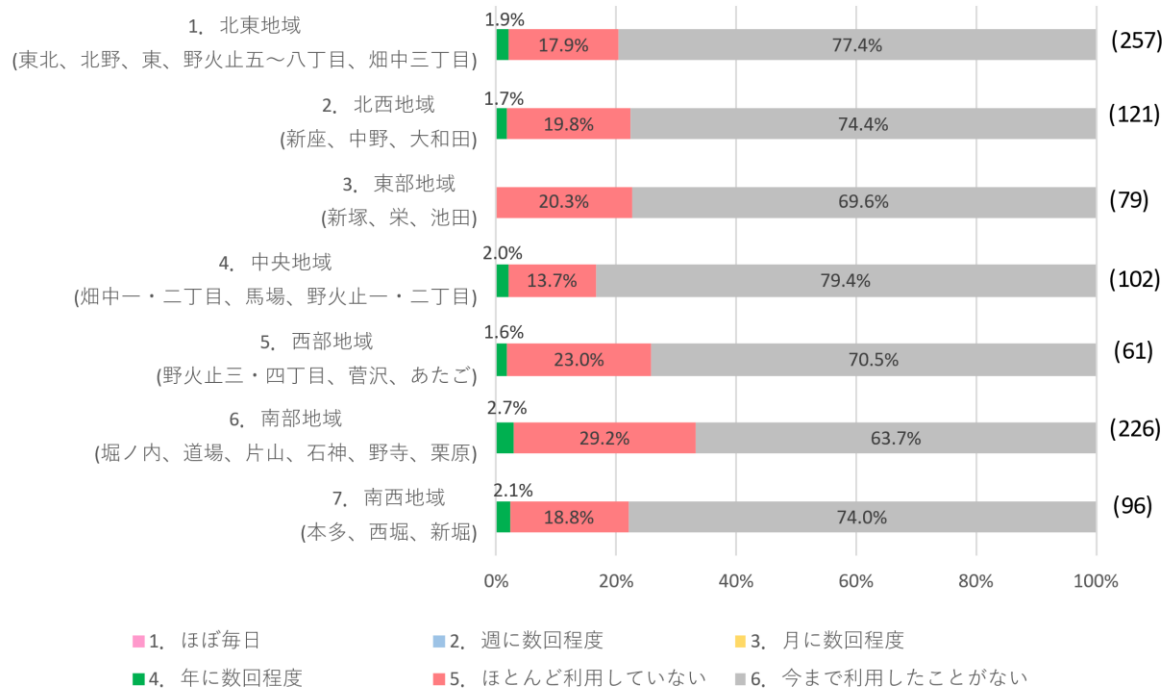
児童センター



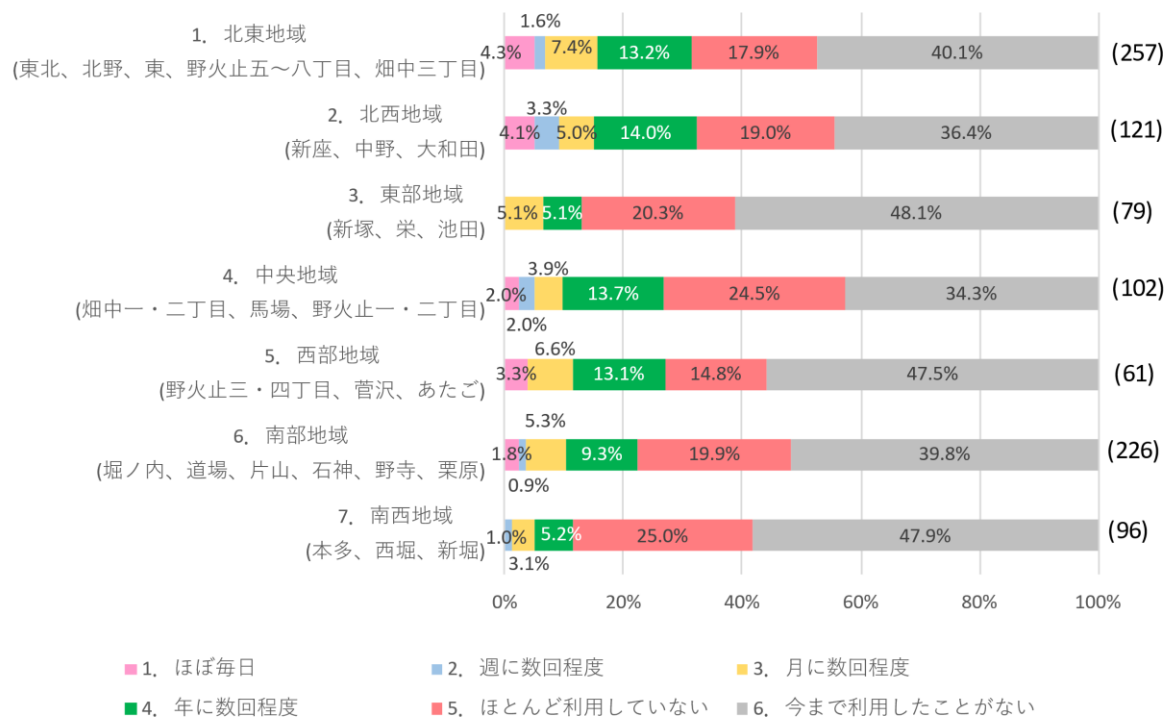
保健センター



歴史民俗資料館

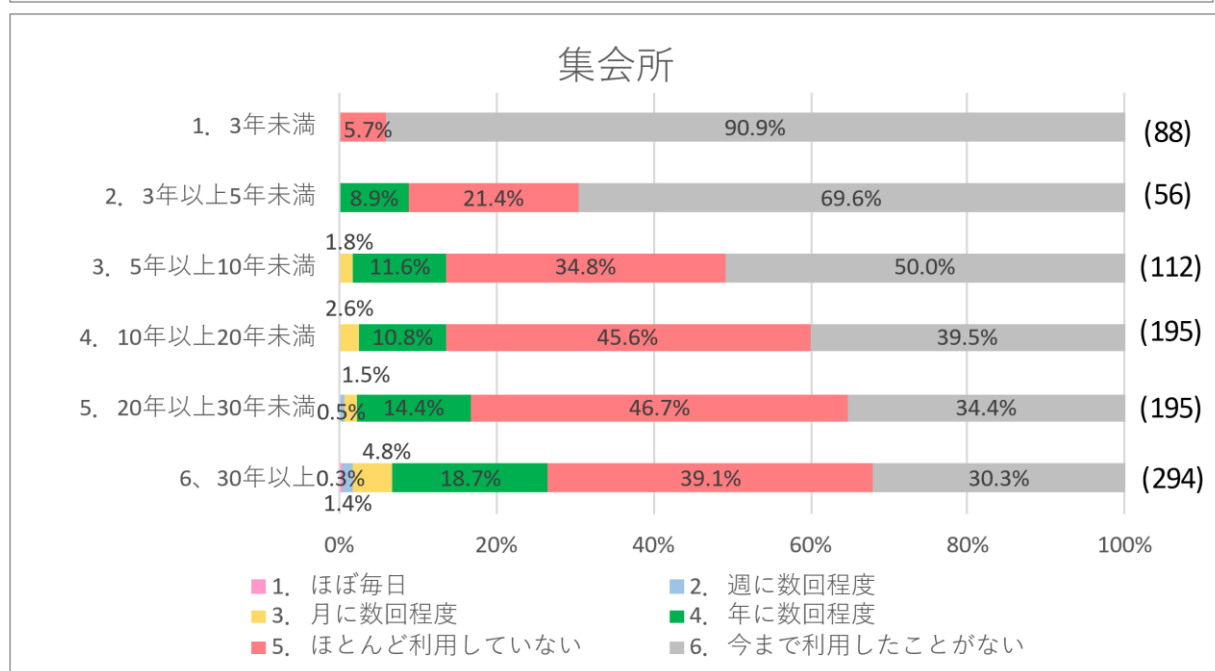
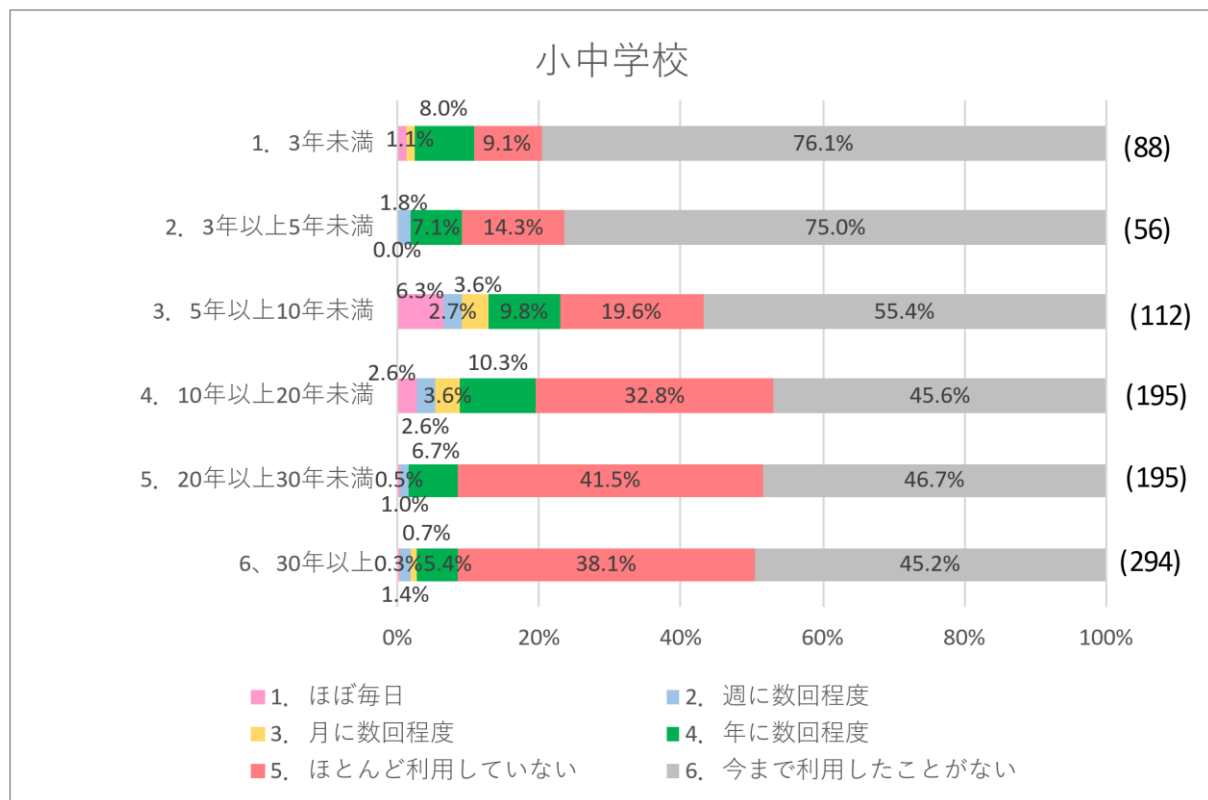


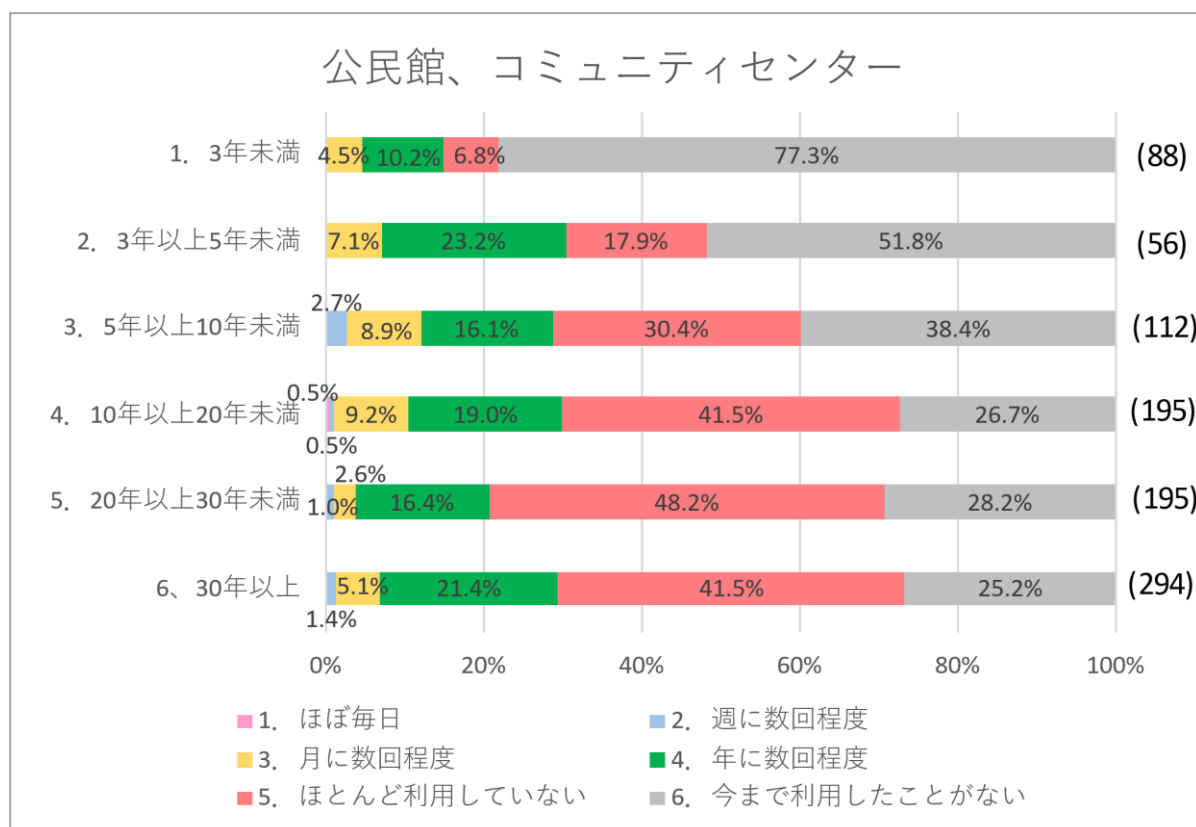
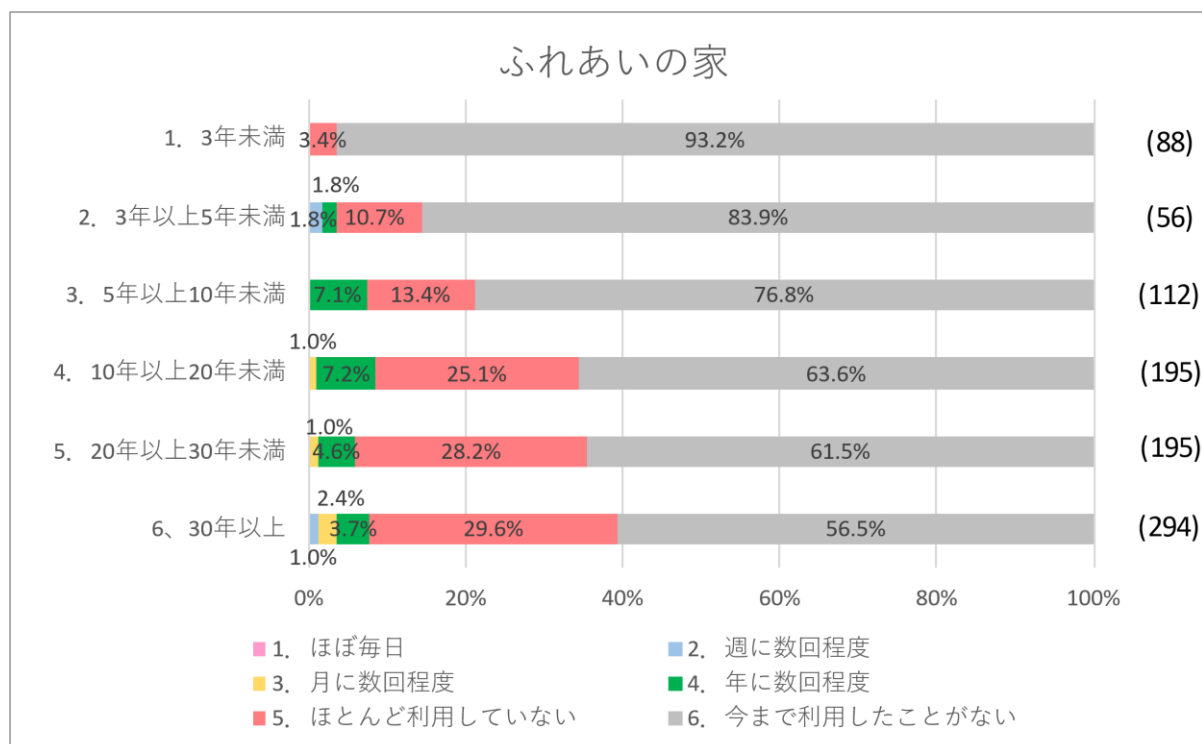
その他



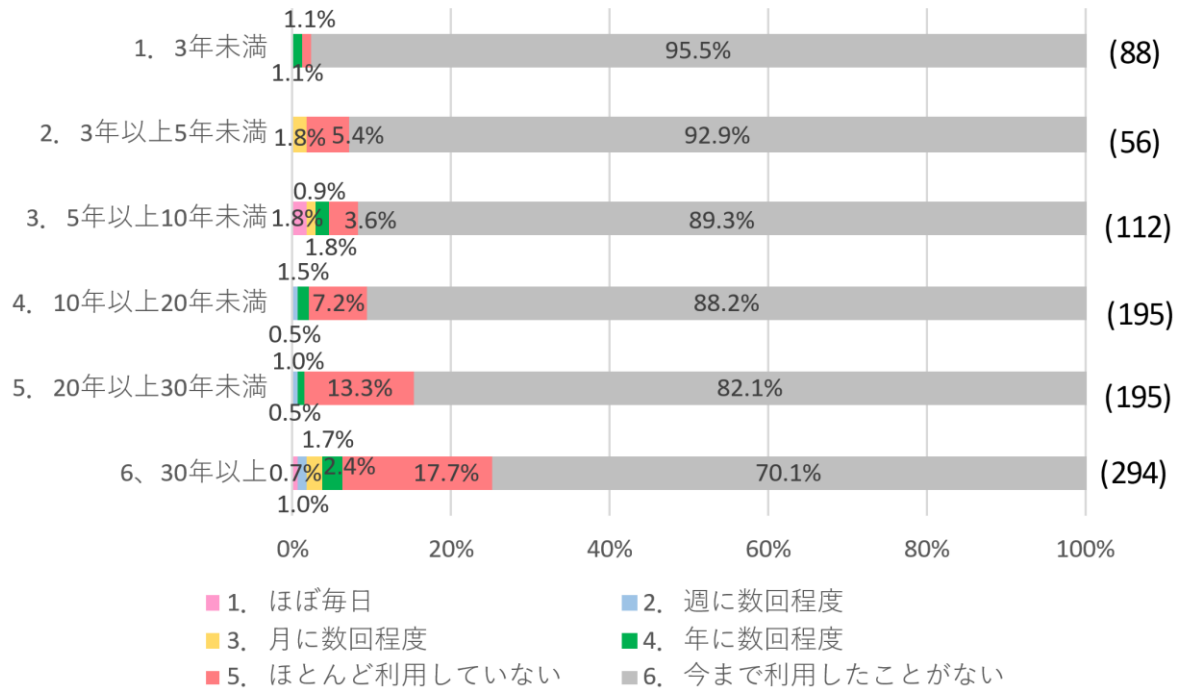
(6)居住年数×利用頻度

居住年数により各施設の利用状況に差が生じている事が読み取れます。

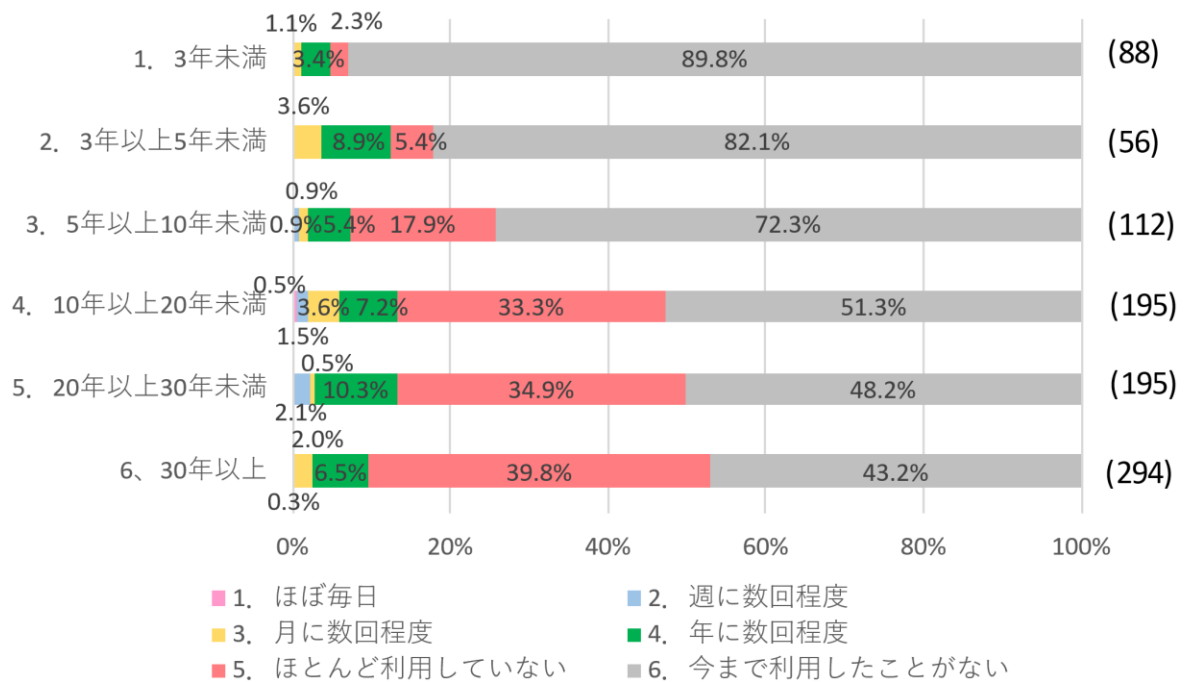




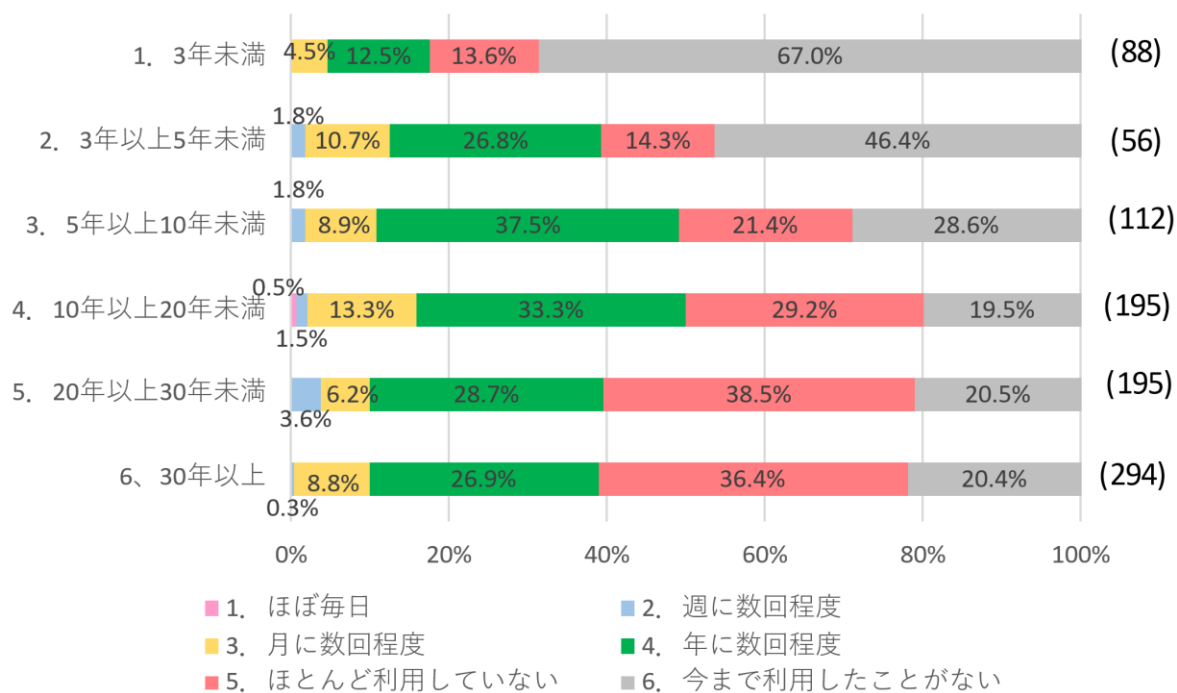
老人福祉センター



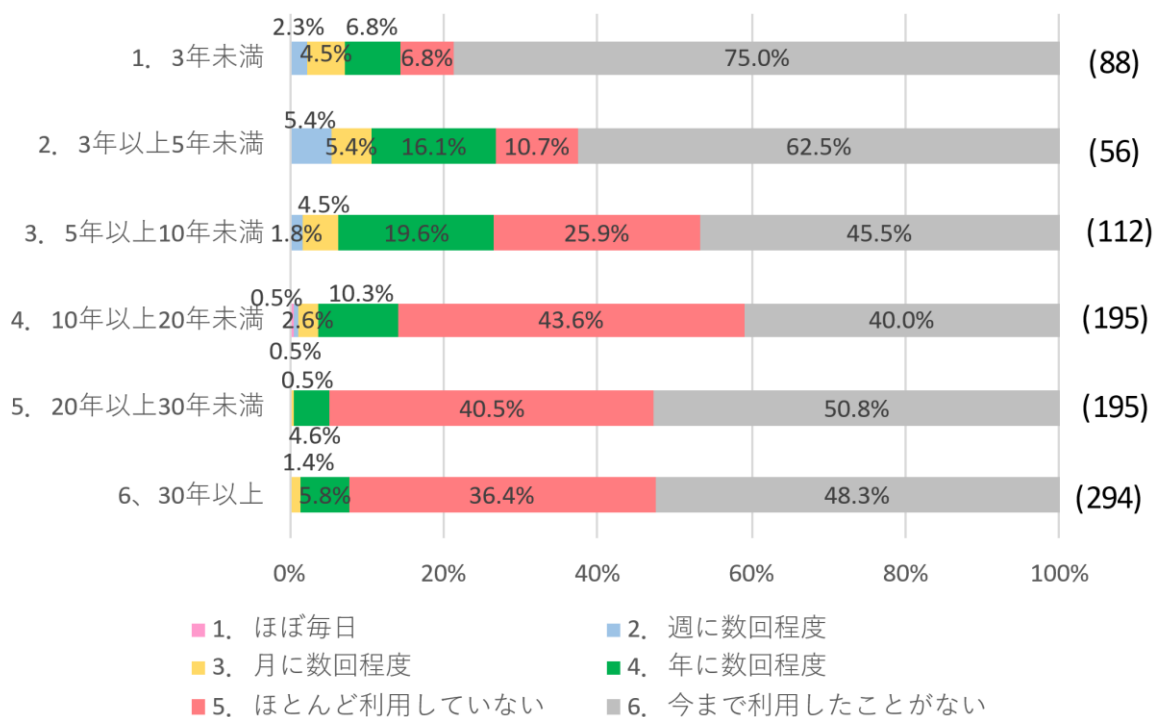
体育館

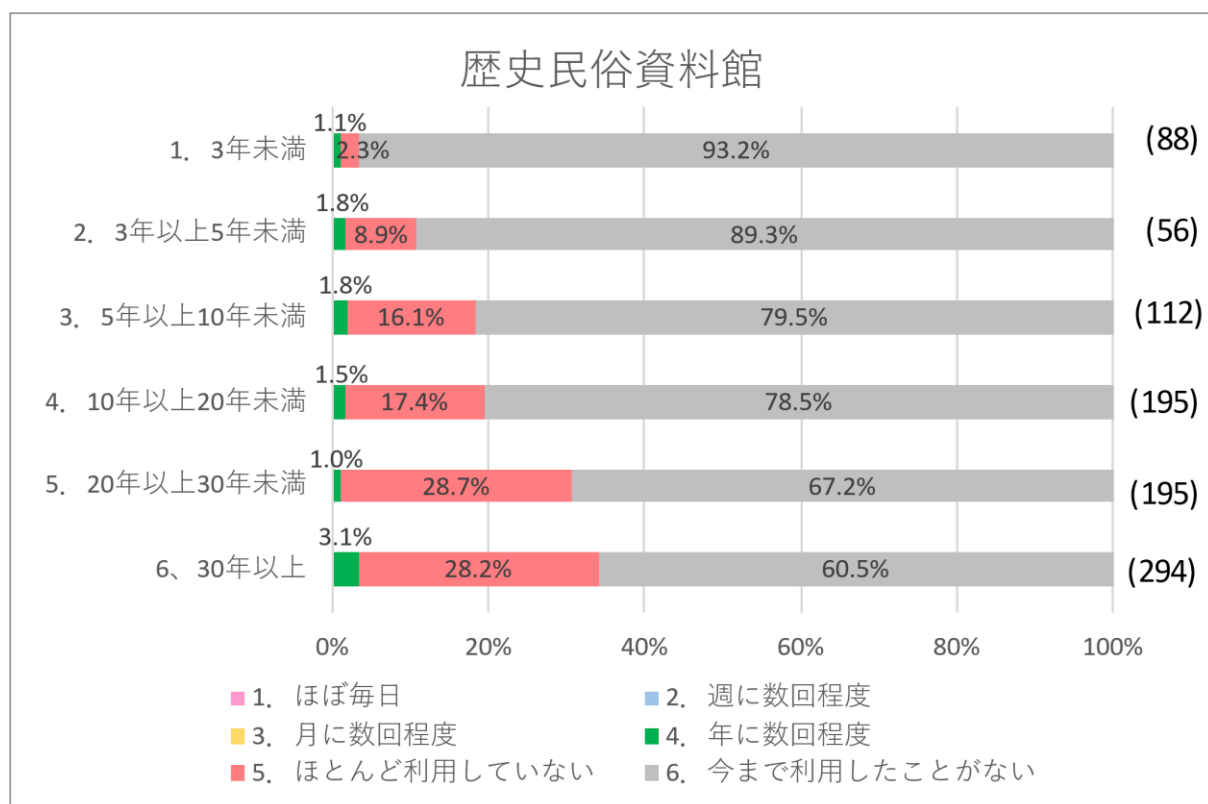
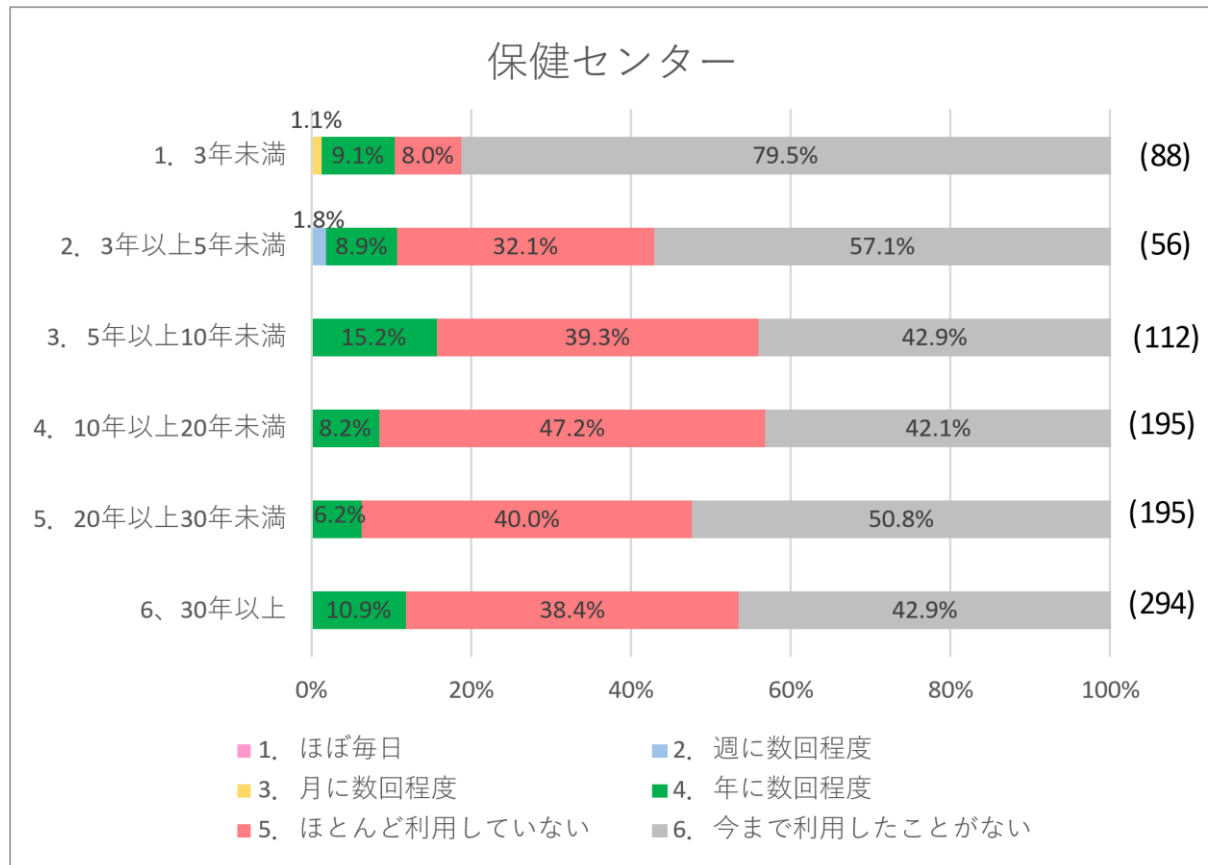


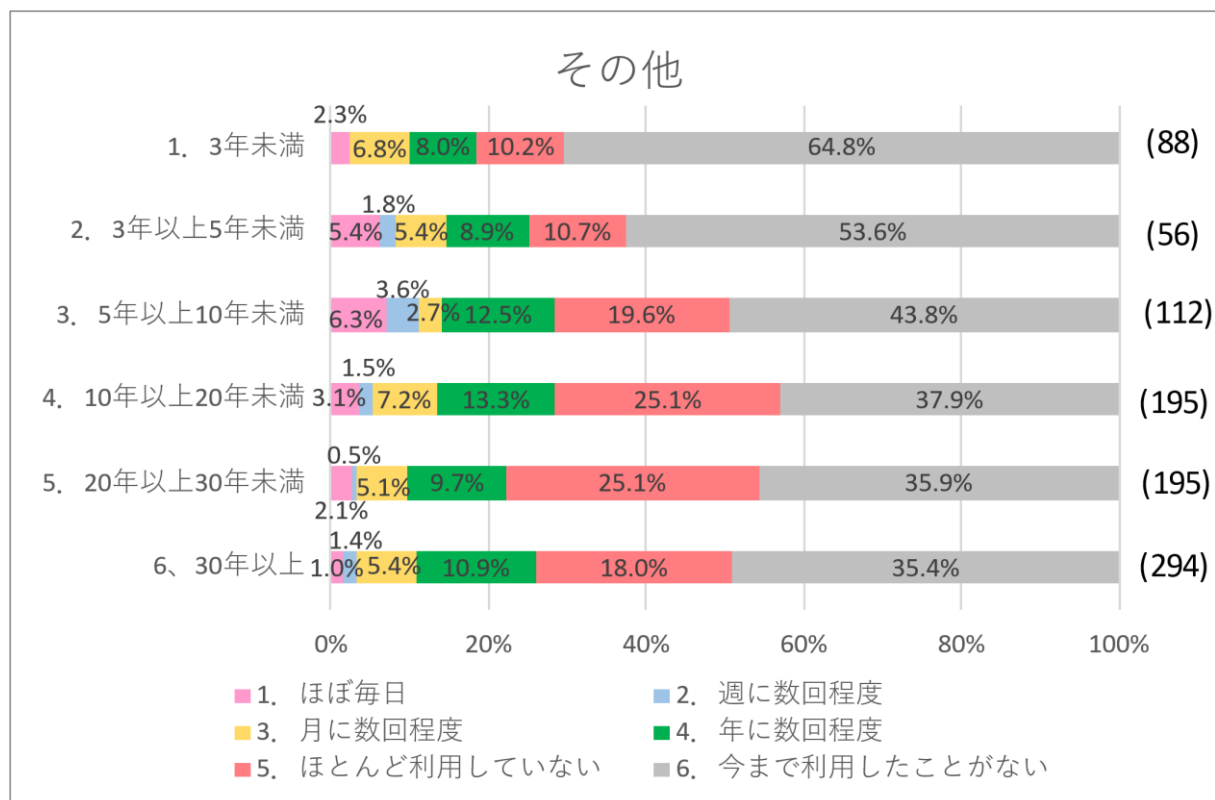
市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館



児童センター







3、自由意見

(1)集計結果

アンケートの最後に自由意見の記入欄を設け、349 件の回答を得ました。それらを大きく 5 つに分類し、以下の集計結果となりました。

分類	回答数	構成比
公共施設全般	85	24.4%
公共施設	118	33.8%
行政	86	24.6%
交通・道路・公園	50	14.3%
その他	10	2.9%
合計	349	100.0%

① 公共施設全般

公共施設全般に関する意見は 85 件あり、最も多かったのは建物や立地に関する意見でした。自宅の位置が新座市内の公共施設よりも隣接自治体の施設が近い場合でも「利用出来ない」といった声が多く、「近隣自治体と連携して欲しい」といった提案も見られました。

○この分類での意見

老朽化が目立つ施設が確かに多いように思います。時代に合った機能を持つような施設があればいいかなとも思います。

新しい集会所もできとても嬉しい反面、古い集会所や児童センターが古いのが気になります。

是非利用してみたいと思わせる魅力ある施設が少ない気がします。建物などのハード面だけでなく、ソフト面も充実を図っていく必要を感じます。

新座市は近隣の市と比べても公共施設が不便な場所に多いと感じる。また充実していない。長く住民に住んで欲しいと思うのであれば、便利な場所、人口の多い地域の公共施設を充実させるのが良いと思う。

新座の端、練馬区に隣接している所に住んでいます。新座の施設は点々としているため、アクセスが難しく利用していないのが現状です。

家からはなれている所が多く、利用する機会がほとんどない。

南部地域にももうすこし公共施設案（公園など）ほしい。

保健センターの移転により、ますます主要な施設が市役所周辺に集結してしまい、市内での生活の利便性に差を感じる

市内だけではなく、隣接する埼玉県内・都内各市ともっと共用できる設備が複数あった方がいいです。

近隣の市町と施設の配置など協議した方が良くように思います。（市町民が共に利用できるようにする事を前提）

施設の立て直し、維持管理・修繕は費用がかかるため、施設の中にコンビニ、塾などのテナントを入れて収入を得たり、民間のビル等に施設を間借りするなど、施設にできる限り民間資本を活用していくことが必要。

② 公共施設

この分類では各施設に向けられた意見として集計を行いました。最も多かったのは児童施設に対する意見で 34 件ありました。プールや公園、児童センターの老朽化への不満が多く見られました。

アンケートの集計結果と同様に子育て世帯や児童福祉への関心の高さが目立ちました。

○この分類での意見

新座市は市民増加をしているにも関わらず子育て世代に対しての施設が少ない。たとえば緑のある公園や施設が少ないので増やしてほしい。
他の市にくらべ、児童センターや大きい公園がない。やたらポケットパークがあり運営を疑う。相続税の節税であり意味がない。公共プールがない。図書館が少ない。
近隣の市と公同、公有の公園、施設は無理でしょうか。だれでもいつでも利用できる大きな公園、図書館があったらいいなと思います。以前住んでいた市では図書館は 9 時から 21 時まで利用でき、本を借りるだけでなく、席がたくさんあり、本を読んだり、勉強したりすることができ、毎日利用していました。受験勉強、資格の勉強、ペン習字など落ち着いて取り組み、周りの方に影響され励んでいました。これから先老いていくことを考えると、気軽に散歩できる公園はあったらいいなと思います。
住んでいる場所から近くに集会所があり、とても便利です。集会所の窓口となってくださっている方の対応も親切で安心します。感謝しています。公園のトイレは全体的に増えて綺麗になるととても助かります。ふれあいの家は栗原を何度か利用しましたが、料金がかかるのに集会所より設備が整っていないくて、清潔ではなくガッカリしてしまいました。
児童センターに行ったが、あまりキレイじゃなく、新しくなく子供を遊ばせるのをためらってしまう。キレイな施設だと安心するし、もっと多く連れていきたいと思う。
子供が自分で行けるくらいの距離に福祉の里くらいの大きい図書館があるといいなと思います。児童センターにも、自習で使えるような机とイスのスペースがあると嬉しいです。(近くの公民館でも)
公共施設(図書館など)の広域利用(東京都の周辺自治体含む)を積極的に活用してほしい
体育館も市民の健康維持の為に役立つような施設になると良い。東久留米市や三芳町の体育館などスタジオがあったり、フィットネスが出来たり充実している。
温水プールを造って欲しい。現在は東久留米市のプールを利用しています。

③ 行政

この分類は新座市政全体や財政、その他課題への意見をまとめました。行財政運営についての意見が目立ち、以下のようなものがありました。

○この分類での意見

統廃合、複合化をし、税金を別の部分に使用していただきたい。市税を軽減することにつながると思う。利用料も最大で徴収していただき、施設が赤字にならないよう経営していただきたい。利用しているのは一部の方のみであることをもう一度再確認していただきたい。改修する必要があるのか
市職員数の見直し、市役所含め人数が多いと思います。人件費カットが最優先だと思います。

どの公共施設もほぼ利用した事がなく、特に意見する事も思い当たりませんが、利用する人しない人の差があると思うので、利用者から多少なりとも料金をもらうなどして維持費に当てたら良いのではと思います。
体育館、集会所、コミュニティーセンターなど、利用する人としらない人が別れているので、高速道路のように受益者負担で利用料を適正に徴収するのがよいと考えます。
施設を利用しているのは限られた人たちだと思うので老朽化した施設は思いきって全て廃止して良い。その上で新座市のシンボルとなるような引っ越してきたくなる魅力的な複合施設を 1 つでいいので作ってほしい。そしてその施設に距離があっても行けるようなシャトルバスなどの交通の仕組みを整えてほしい。
公共施設の経費を減らしたり、施設数を減らす議論をする前に他に考えるべきことがあると思う。新座市になぜお金がないのか、どこにお金を使っているのかをホームページや広報にもっと詳しくのせてもらわないと判断することは難しいし、市長などの特別職の方の給料がホームページを見るかぎりだと高すぎると思うので、最低賃金に下げってから住民サービスの削減の話をしてもらいたいと一市民として感じている。
新座市が今までどのような事に税金を使っているのか知ってからでないと意見しづらい。公共施設も大切ですが、インフラにも力をいれてほしい。道路やその脇の雑草、空き地、見通しが悪い所が多い。子供を 1 人で歩かせるのに不安。公園の遊具が古くあぶなそう。小さすぎる公園や整備されていない公園は遊べなく、結果無駄になっている気がする。とくに夏の雑草がひどい。

④ 交通・道路・公園

自由意見の中にはコミュニティバス(にいバス)の運行本数や時刻、道路の状態、公園の数や状態への不満が多く見られました。特に、公共施設へ向かうための交通手段に不満を持つ市民が多くいる事が分かります。

○この分類での意見（交通）

統廃合する場合には交通手段への配慮が必要と思われる。
住んでいる場所（栄）の問題ですが、住んでいる地域から市役所方面へ行きずらく、使いづらいです。(にいバスの本数が少ないです。) 車がないので。
新堀地区周辺の新座市内施設への交通の利便性が大変悪く見直しをお願いします。
体育館その周辺への交通の便が悪い 北部（志木駅）からのバス便がない、近くまで行く便が極端に少ない
南部の練馬区の県境のため、どこへ行くのも交通機関がなく不便です。
高齢者施設までの交通手段に困る。もう少し、コミュニティバス等の本数が増えると利用しやすい。

○インフラに関する意見として、以下のようなものがありました。

西堀一丁目に住んでいます。中央図書館を利用したいのですが、西武バスやにいバスの本数では日中のアクセスが難しいです。また自転車で行こうにも、狭い道が多く未就園児を乗せていくのは少し怖いです。駅側の施設に関しては、車を所有していない家庭はアクセスしにくいなと思っております。

公共施設も大事だが、集中豪雨で冠水する場所を早急に工事に取り組んで欲しい。
道路の横断歩道等の線引きが消えてたり、ミラーが見えなかったりして道路整備が出来てなくて危険な場所が多い
歩道の整備・補修を計画的に実行してほしい。ボコボコになっていたり、幅が狭く車道と近すぎる道、縁石やガードレールがない道など、通行していて危険を感じる歩道が多数あります。保育園、幼稚園、小・中学校の通学路になっているところは特に優先して整備すべきだと思います。

○公園に関する意見として、以下のようなものがありました。

子供達が自由に遊べる（ボールが使える等）の公園が不足している様に感じます。もっと自由に遊ばせてあげたいです。
近隣に満足する公園がない為、小さい公園に子供があふれている。もっと子育てのニーズをくみとって欲しい。
新座市は大きな公園がない。土地の関係もあると思いますが、新座市に住んでいながら別の市や県に遊びに行きます。新座市にも大きな公園ができれば(特に南部)と思います。

一方で、公園に関しては肯定的な意見も見られました。

以前この様なアンケートで、市内に大きな公園を作ってほしいと書いた事があります。その数年後に「水辺の丘公園」が出来ました。市民の声が反映されているんだなと嬉しい気持ちになりました。ありがとうございます。財政問題も大変だと思いますが、新座に若い世代が越してきたくなる様な町になっていく事に期待しています。既存施設で老朽化が進んでいる所もトイレ（水回り）を最新式にすれば満足度が上がる気がします。

⑤その他

①～④の分類に含まれない意見をその他として集計しました。

アンケートそのものに対する意見等は複数あり、以下のようなものがありました。

○この分類での意見

このアンケートの選択肢が誘導しようとしているようなものが多々ある。これをエビデンスとして行政判断することに懸念を感じる
40 年以上経過している古い施設に対し長寿命化をしても、多少利用期間が延びるだけで費用対効果はないと思われる。このアンケート自体が公共施設の再編や再配置のみを対象としているので、もっと違う視点での回答案も示してほしい。
①利用者の少ない施設は近隣の施設を統合又は複合化して利用しやすい様にする。②減らすことを目的としたアンケートの様で今一つ回答に気が乗らない。「利便性向上」も併せて検討されたい。
少子高齢化が進むと、人口に占める高齢者の割合が増える。民主主義は多数決だから、当然、高齢者を優遇すべきという声がかくなる。選挙やこうしたアンケートの回答率は、世代間で異なる。暇している高齢者の回答率は高くなるし、仕事家事育児で忙殺されている若者の回答率は低くなる。相模原や横須賀、高齢者が住みやすい街を目指した市町村の末路は本当に悲惨なものである。新座市がそうならないことを期待している。